

第59回

第68回

# 全日本女子剣道

# 全日本剣道

選手権大会

選手権大会

令和3年3月14日(日)

午前9時30分開会 / 午前10時00分試合開始

ホワイトリング (長野市真島総合スポーツアリーナ)

NHK BS1 <正午~午後3時50分>

■ 主催 / 公益財団法人全日本剣道連盟 ■ 主管 / 一般財団法人長野県剣道連盟

■ 後援 / スポーツ庁・長野県教育委員会・公益財団法人長野県スポーツ協会・長野市・読売新聞社・毎日新聞社・公益財団法人日本武道館

<https://www.kendo.or.jp>

# 剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

## 剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び  
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い  
剣道の特性を通じて礼節をとらとび  
信義を重んじ誠を尽して  
常に自己の修養に努め  
以って国家社会を愛して  
広く人類の平和繁栄に  
寄与せんとするものである

昭和50年3月20日制定  
全日本剣道連盟

## 剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形(かたち)の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成19年3月14日制定  
全日本剣道連盟

## 大会次第

1. 係 員 集 合 8 : 00
2. 選 手 集 合 8 : 30
3. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 9 : 20
4. 選 手 整 列 9 : 25 ~ 9 : 30
5. 開 会 式 9 : 30 ~ 9 : 45
6. 日 本 剣 道 形 9 : 45 ~ 9 : 55
7. 試 合 1 回 戦 男 女 各 2 試 合 場 ( 各 16 試 合 ) 10 : 00 ~ 12 : 40
8. 試 合 2 回 戦 男 女 各 2 試 合 場 ( 各 8 試 合 ) 12 : 40 ~ 14 : 00
9. 試 合 3 回 戦 男 女 各 2 試 合 場 ( 各 4 試 合 ) 14 : 00 ~ 14 : 40
10. 試 合 4 回 戦 男 女 各 2 試 合 場 ( 各 2 試 合 ) 14 : 40 ~ 15 : 00
11. 試 合 準 決 勝 男 女 各 1 試 合 場 ( 各 2 試 合 ) 15 : 10 ~ 15 : 30
12. 試 合 決 勝 男 女 各 1 試 合 場 ( 各 1 試 合 ) 15 : 40 ~ 15 : 50
13. 閉 会 式 ( 表 彰 ) 16 : 00 ~ 16 : 25

---

## 開 会 式

1. 選 手 集 合 ..... 8 : 30
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列 ..... 9 : 20
3. 選 手 整 列 ..... 9 : 25
4. 国 歌 斉 唱
5. 天 皇 杯 ・ 皇 后 盃 返 還 ( レ プ リ カ 授 与 )
6. 大 会 会 長 挨 拶
7. 関 係 者 紹 介
8. 試 合 上 の 注 意
9. 選 手 退 場 ..... 9 : 45

## 閉 会 式

1. 選 手 整 列 ..... 16 : 00
2. 役 員 ・ 審 判 員 整 列
3. 表 彰
4. 優 秀 選 手 発 表
5. 大 会 会 長 挨 拶
6. 退 場 ..... 16 : 25

## 第68回 全日本剣道選手権大会要項抜粋

### 1 趣 旨

剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた選手により、天皇杯の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

### 2 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

### 3 出場選手資格および人員

(1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している男子。

(2) 年齢は満20歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、今大会前日の令和3年3月13日を基準とし、平成13年3月13日以前に生まれた者)

(3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

予選会出場者は、令和2年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(4) 出場選手人員は次のとおりとする。

ア 東京…4名

イ 埼玉・千葉・大阪・福岡…3名

ウ 北海道・茨城・神奈川・静岡・愛知・兵庫…2名

エ その他の府県…1名

計64名

### 4 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。

(2) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。

(3) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

### 5 表 彰

(1) 選手権者には、天皇杯・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

(2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

(3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

(4) 出場選手には参加賞を贈る。

# 第59回 全日本女子剣道選手権大会要項抜粋

## 1 趣 旨

女子剣道の普及振興を図るため、各都道府県剣道連盟登録会員の中から最も心技力に優れた女子選手により、皇后盃の獲得を目指し優勝を争い、広く剣道愛好者に披露すると共に剣道の真価を世に示し、一般の認識を深めようとするものである。

## 2 選手権者の決定

各都道府県剣道連盟より選出された代表選手による、トーナメント方式によって選手権者を決定する。

## 3 出場選手資格および人員

(1) 各都道府県剣道連盟の登録会員であって、全日本剣道連盟会員規則に適合している女子。

(2) 年齢は満18歳以上とし、段位の制限はしない。(年齢計算は、令和3年4月1日を基準とし、平成15年4月1日以前に生まれた者)

(3) 予選会出場は一ヶ所とする。違反した者は出場を取り消す。

予選会出場者は、令和2年4月30日以前から本大会参加時まで、引き続き当該都道府県剣道連盟の登録会員であること。

(4) 出場選手人員は次のとおりとする。

ア 東京…4名

イ 埼玉・千葉・愛知・大阪…3名

ウ 茨城・神奈川・新潟・兵庫・福岡…2名

エ その他の道府県…1名

オ 開催県…1名

計64名

## 4 試合・審判および試合方法

(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則と同細則、および主催大会実施にあたっての感染拡大予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合・審判方法)に記載の試合方法による。

(2) 竹刀の基準は、大学生・一般の長さ、重さ、太さとする。

(3) 試合はトーナメント方式により、優勝、第二位、第三位(2名)を決定する。

(4) 試合は3本勝負、試合時間は5分とする。試合時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を行い、先に1本取った者を勝ちとする。なお、延長に入ってから試合時間は3分区切りで、延長3回で1回5分間の休憩を取り勝敗の決するまで継続する。

## 5 表 彰

(1) 選手権者には、皇后盃・優勝旗・優勝杯・賞状および賞品を授与する。

(2) 第二位・第三位に賞状および賞品を授与する。

(3) 優秀選手には、優秀選手賞を贈る。

(4) 出場選手には参加賞を贈る。

## 我が国の剣道の流れ

徳川幕藩体制の崩壊——明治維新の政道一新によって衰頹の一途を辿った剣道界は、明治28（1895）年、大日本武徳会の創立を転機として復興への曙光を見出し、次第に発展への途を歩み、昭和初期から10年代にかけて最盛期を迎えた。昭和4（1929）年には天皇の御即位の大礼を祝って天覧武道大会が催され、同9年には皇太子殿下御誕生奉祝天覧武道大会、同15年には紀元2600年奉祝天覧武道大会と前後3回にわたって全国から精鋭をすぐって大規模な優勝試合が行われた。この頃は日本の国勢の目覚ましい伸張とあいまって剣道の隆盛はその極に達した観があり、日本剣道史はじまって以来最も普及充実した時期であった。

しかるに第2次世界大戦の敗戦は、剣道界に潰滅的な打撃を与えた。日本占領の連合軍の施策の中にあつて剣道は、手ひどい弾圧を受けた。学校教育としては全面的に禁止され、社会体育の場においても厳重な制限を受け、かつまた創立以来わが国武道界の総本山として武道の普及振興を一手に掌握してきた大日本武徳会は解散を命じられ、剣道界は全く火の消えたような状態となった。

昭和27（1952）年、わが国の独立が回復するとともに剣道復興の動きはにわかに活発となり、全国の剣道愛好者の熱烈な願いが実を結び、同年10月全日本剣道連盟が設立された。これによって長い空白時代を経て剣道は再び愛好者の手に戻り、剣道界再出発への基礎が確立された。

全日本剣道連盟は発足とともに剣道界再建のために活発な活動を開始した。すなわち新しい出発に際し、審判規則ならびに称号段位制度の制定や、諸制度の整備を行い、事業面では翌28年から京都武徳殿における剣道演武大会の復活をはじめ全日本剣道選手権大会、全日本都道府県対抗剣道優勝大会、全日本東西対抗剣道大会の三大会を主催するまでになった。さらに居合道、杖道大会をも加え、国民体育大会には30年から正式種目として参加し、そのほか大学、高校、中学、少年錬成大会など共同主催8大会と後援30以上の大会をと広い分野にわたって剣道の普及振興に努めている現況である。

第一に剣道の国際的發展である——日本独特の剣道の世界的普及——しかも海外の剣道愛好者は単に剣道の技術の習得だけではなくむしろ剣道の真のよさ、いわば剣道の心にひかれて剣道を行っている点に大きな特色がある。昭和45（1970）年国際剣道連盟が結成され、現在では59か国・地域が加盟し約100か国で活動している。国際剣道連盟結成と同時に第1回世界剣道選手権大会が開催された。また海外の愛好者が毎年来日して研修に努めており、全剣連ではこれらの人びとのために毎年、夏期講習会を日本で開催しているほか、海外各国に指導者を派遣して指導と交流に努めている。平成18年には国際競技団体連合（GAISF）にKendoとして加盟し、略称をIKFからFIKに改称した。

次に剣道界への女性の目覚ましい進出である。従来は男子は剣道、女子は薙刀というのが常識であったが、戦後女性の剣道界への進出は実に見張らせるばかりである。現在は下は小、中学生から上は高校、大学生、あるいは社会人に至るまで、その進出は著しく、令和元年度の剣道初段合格者28,391名のうち10,537名が女性であるという事実から見てもその進出振りがうかがえる。全剣連としては、昭和37年から全日本女子剣道選手権大会を開催している。また同時に学生

界でも高体連は同38年から女子の参加を認め、全日本学生剣道連盟でも全日本女子学生剣道大会を男子の大会と併行開催している現状である。

第3の特色は少年剣道の目覚ましい隆盛である。戦後、特に昭和30年頃から剣道が隆盛になるにともなって少年の間に剣道熱が高まってきた。これは剣道のもつ特性が少年の人間形成に及ぼす影響に対する評価が認識されるにつれて、家庭におけるしつけの問題と関連して、道場に通わせて剣道を修めさせる家庭が多くなったのに起因するところが多いと思われる。これにともなって私設道場も各地に続々と設立され、毎年夏期に日本武道館において開催される少年剣道錬成大会には全国各地から父兄付き添いで数千名の少年剣士たちが参加し、錬成に励む姿はまさに熱気を帯びている有様である。この少年剣道の隆盛にともなって、近年の社会的特徴である家庭婦人にも剣道愛好者が増加した。その家庭婦人に剣道精進の励みを与えるとともに、生涯剣道の目標を与え、併せて青少年の健全育成に資するために昭和59年に第1回の全国家庭婦人剣道大会が開催され、平成20年第25回まで実施した。以後、家庭婦人のみならず、広く女子剣道人の大会として、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会とあらため、開催されている。

このように現在の剣道は剣道人口の底辺の拡大、国際的発展、女性も含めて青少年層への目覚ましい普及などに見られるように日本民族の輝かしい文化的所産として正しく認識され、確実な発展を歩み続けている。

## 女子剣道の現状

わが国の女子剣道の普及・発展は近年特に著しく、戦後の剣道の新しい流れとなっている。

本大会は、全日本都道府県対抗剣道優勝大会の第10回を記念し、昭和37年5月3日に5県8名の参加により、第1回大会が開催された。

昭和46年の第10回大会には参加選手37県44名と充実し、大会名を選手権大会と改め、また都道府県対抗大会と同日に行っていた本大会は、昭和62年第26回大会より独立し開催した。

また、かねてより熱望してやまなかった皇后盃が、平成9年第36回大会より優勝者に授与されることとなり、名実ともに女子選手権者の決定大会となった。

女子剣道の底辺は広くなり、幼少年から中・高・大学生・一般、さらには既婚者等と各地域・職域において盛んに行われている。

また全国規模の女子剣道大会は、本大会を皮切りに別表のとおり各関係団体の尽力により華々しく開催され、現状の隆盛を見ることが出来たことは実に喜ばしいことである。

さらに本連盟では、女子剣道の普及現状に鑑み、昭和59年にママさん剣士による第1回全国家庭婦人剣道大会を、昭和63年第1回女子剣道講習会の開催（以後関東・関西で実施）、平成10年第1回女子剣道審判講習会の開催、平成28年女子剣道指導法講習会の開催、また女性剣士による討論会の企画・実施など、女子剣道の正しい普及・振興に寄与している。

さらに平成18年度より、女子審判法研修会を女子剣道七段の中から指定して開催し、平成21年度より全国家庭婦人大会に変わり実施する全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会ならびに全日本女子剣道選手権大会の審判に起用している。

## あいさつ

公益財団法人全日本剣道連盟

会長 張 富士夫



第68回全日本剣道選手権大会・第59回全日本女子剣道選手権大会をここ長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」において、全国各都道府県での予選を勝ち抜いた精鋭を迎え、本大会を開催できますことは、誠に喜びにたえません。

この大会は、男子・女子の全日本選手権大会を同日に開催するという本連盟創設以来初めての大会であり、大変意義深いものです。ここに、本日を迎えることができましたことは、コロナ禍での大変な状況の中、予選会開催など各都道府県剣道連盟のご尽力のたまものであり、深く感謝申し上げます。

さて、今後も私たちは「剣道の理念」に則った剣道の質の向上を図り、剣道の真髄を追及して普及発展に努める所存です。また、剣道指導の心構えの浸透を図ることにより、正しい剣道の指導を実践し、人造りに貢献するとともに、日本の伝統に育まれた剣道を、後世に継承させなければならないと考えています。

本大会に出場される男子64名女子64名の選手は、各都道府県を代表とする選手です。選手諸君は、郷土の榮譽を担い、多年にわたり錬磨された実力を大会の場において遺憾なく発揮されるよう切望いたします。そして、全国の剣道愛好者、海外で注目している剣道関係者、さらに将来、この全日本剣道選手権大会の出場・活躍を目標とする少年少女の剣士たちへ、良き模範を示して頂くことをお願いいたします。本大会に出場選手の郷土においては、災害・震災に遭われた地域もあります。例年になく無観客での開催となりますが、代表剣士の皆さまには、日本を元気づけるような試合を展開して頂きたいと思っております。

終わりに、本大会の開催にあたりご後援を頂いたスポーツ庁・(公財)日本武道館・長野県・長野県教育委員会・公益財団法人長野県体育協会・長野市・読売新聞社・毎日新聞社、主管団体として運営にご尽力を頂いた一般財団法人長野県剣道連盟、並びに関係各位に深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶と致します。

## 歓迎のことば

一般財団法人長野県剣道連盟

会長 加瀬 浩明



第68回全日本剣道選手権大会、第59回全日本女子剣道選手権大会が1998年冬季オリンピック・パラリンピックの開催都市である長野市において同時開催されますこと、大変喜ばしく存じます。長野県剣道連盟を代表して、皆様を心より歓迎申し上げます。

全日本女子剣道選手権大会は平成28年より本県拠点開催を承り、今年度が開催最終年度でございます。当初は昨年9月開催の予定でしたが、ご存じのとおり新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け延期となっております。予定されていた大会等の開催中止や延期等が相次ぎ、また、未だ感染状況が終息しない厳しい状況の中ではありますが、感染防止対策を最大限に講じつつ、国内最高峰の大会である男女の選手権が今回同時開催されますことは、長い歴史の中で初めてのことであり、今後の剣道発展につながる大事な機会になるかと存じます。

選手の皆様には、コロナ禍以前のような稽古が十分にできない中、日々精進を積み重ねられ、この舞台に立たれたことと存じます。未だ稽古がままならない状況にあり、大会等の出場を断念せざるを得なかった剣士が大勢いらっしゃいます。どうか、その方々の存在を忘れることなく、剣道日本一の座をめざして、正々堂々と立派な試合を展開されますことを期待いたします。

長野市真島総合スポーツアリーナ「ホワイトリング」は、長野冬季オリンピックでフィギュアスケート及びショートトラックスピードスケート競技の会場となった施設であり、現在は様々な競技の国際大会が開催されています。権威ある両大会にふさわしい舞台となるよう、長野県剣道連盟も全力で大会運営にあたりたいと存じます。

結びに、大会開催にあたり多くのご支援、ご協力をいただいております長野県、長野県教育委員会、公益財団法人長野県スポーツ協会、さらに地元長野市はじめご尽力を賜りました関係の皆様にご心から敬意と感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。

## 祝 辞

文部科学大臣 萩生田 光一



第68回全日本剣道選手権大会並びに第59回全日本女子剣道選手権大会が開催されますことを心からお祝い申し上げます。

剣道は、我が国の長い歴史と伝統に培われた世界に誇る武道の一つであり、日々の稽古を通して心身を鍛錬するとともに、相手の人格を尊重し、礼法を重んじる態度の育成を図るなど、豊かな人間形成に寄与するものです。剣道が今日、国内外において幅広い年齢層の人々から親しまれ、広く普及・発展しておりますことは、誠に喜ばしいことです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々なスポーツの競技大会やイベントが中止・延期となっており、アスリートや子供たちの練習・運動の機会が失われるなど、スポーツ界にとっても深刻な影響が生じています。そうした中で、大会が開催され選手の皆様が集えたことを大変嬉しく思います。

本大会は、各都道府県より選出された代表選手が一堂に会し、剣道日本一を決める国内最高峰の大会であり、全国の剣士が目標とする憧れの舞台です。参加される選手の皆様が、日頃の修練の成果を存分に発揮されるとともに、全国の剣道を愛好する仲間と「交剣知愛」の輪を広げられ、本大会が心に残るすばらしい大会となることを願っております。

結びに、本大会の開催に当たり御尽力された公益財団法人全日本剣道連盟をはじめ、関係の皆様に対し深く敬意を表するとともに、本大会の成功と剣道のますますの御発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。

# 第68回全日本剣道選手権大会・第59回全日本女子剣道選手権大会

## 役員名簿

### 大会会長

全日本剣道連盟会長 張 富士夫

### 大会副会長

全日本剣道連盟副会長 稲 川 泰 弘

全日本剣道連盟副会長 網 代 忠 宏

全日本剣道連盟副会長 真 砂 威 威

(一册)長野県剣道連盟会長 加 瀬 浩 明

### 大会顧問

文部科学大臣 萩生田 光 一

読売新聞グループ 山 口 寿 一

本社代表取締役社長

毎日新聞社代表取締役社長 丸 山 昌 宏

(公財)日本武道館会長 高 村 正 彦

日本放送協会会長 前 田 晃 伸

(公財)日本スポーツ協会会長 伊 藤 雅 俊

(公財)日本オリンピック 山 下 泰 裕

委員会会長

読売新聞東京本社 福 士 千恵子

取締役事業局長

毎日新聞社 広 田 勝 己

取締役営業総本部長

毎日新聞社 丸 山 雅 也

取締役東京本社代表

毎日新聞社事業本部長 山 科 武 司

日本放送協会報道局 辻 村 和 人

スポーツセンター長

日本放送協会報道局 松 本 進

スポーツセンター・

スポーツ中継部部長

(公財)日本武道館理事長 白 井 日出男

(一册)長野県剣道連副会長 折 口 一 正

〃 北 原 一 正

〃 藤 極 清 隆

〃 依 田 房 生

全日本剣道連盟相談役 伊 藤 元 明

〃 上 田 憲 幸

〃 奥 島 快 男

〃 児 嶋 克 克

〃 福 本 修 二

〃 松 永 政 美

### 大会顧問

全日本剣道連盟審議員

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

全剣連顧問 (医師関係)

〃

### 大会参与

スポーツ庁長官

読売新聞東京本社

スポーツ事業部

読売新聞東京本社

スポーツ事業部

読売新聞東京本社

スポーツ事業部

読売新聞東京本社

スポーツ事業部

(公財)日本武道館

理事・事務局長

毎日新聞社事業本部

スポーツ事業部長

毎日新聞社事業本部

スポーツ事業部

(一册)北海道剣連会長

青森県剣連会長

秋田県剣連会長

山形県剣連会長

岩手県剣連会長

(一册)宮城県剣連会長

福島県剣連会長

井 上 茂 明

太 田 忠 徳

小 倉 友 康

梯 正 治

加 藤 浩 二

後 藤 清 光

島 野 泰 山

中 田 琇 士

藤 井 稔 也

古 川 瞬 俊

宮 川 英 大

村 上 大 博

目 黒 野 昌 信

矢 野 坂 信

宮 坂 信 之

室 伏 広 治

長 井 大 地

諸 角 秀 雄

大 澤 芙 由 子

竹 内 真 美 子

吉 川 英 夫

田 中 義 郎

朝 井 輝 彦

藤 井 稔 幸

増 田 知 大

目 黒 垣 隆

板 垣 宏 志

小 笠 原 宏 勝

井 上 雅 勝

吉 崎 勝 勝

## 大会参与

(一)茨城県剣連会長  
 栃木県剣連会長  
 群馬県剣連会長  
 (公)埼玉県剣連会長  
 (一)東京都剣連会長  
 (一)千葉県剣連会長  
 神奈川県剣連会長  
 山梨県剣連会長  
 (一)新潟県剣連会長  
 (一)石川県剣連会長  
 (一)富山県剣連会長  
 (一)福井県剣連会長  
 (一)静岡県剣連会長  
 (一)愛知県剣連会長  
 岐阜県剣連会長  
 三重県剣連会長  
 (一)滋賀県剣連会長  
 (一)京都府剣連会長  
 (公)大阪府剣連会長  
 (一)奈良県剣連会長  
 和歌山県剣連会長  
 (公)兵庫県剣連会長  
 (一)岡山県剣連会長  
 (一)広島県剣連会長  
 (一)山口県剣連会長  
 鳥取県剣連会長  
 島根県剣連会長  
 香川県剣連会長  
 愛媛県剣連会長  
 高知県剣連会長  
 徳島県剣連会長  
 (公)福岡県剣連会長  
 佐賀県剣連会長  
 (一)長崎県剣連会長  
 (一)大分県剣連会長  
 鹿児島県剣連会長  
 (一)沖縄県剣連会長  
 全日本実業団剣道連盟会長  
 (一)全日本学校剣道連盟会長  
 全日本学生剣道連盟会長  
 (一)全日本剣道道場連盟会長  
 (公)全国高等学校体育連盟  
 剣道専門部長  
 (公)日本中学校体育連盟会長  
 全日本官公庁剣道連盟会長  
 (公)全国高等学校体育連盟  
 定時制通信制剣道部長

小白倉培夫  
 武石正範  
 藤成孝  
 山中茂樹  
 千葉胤道  
 川畑富保  
 小林英雄  
 渡邊宏一  
 浅原行雄  
 南信廣  
 牧田稔  
 片山外一  
 吉村勝文  
 大嶽將彦  
 岡田一義  
 中野正文堂  
 伊吹文明作  
 長榮周作  
 吉田克法  
 世耕弘成  
 河野修一郎  
 山本晋一郎  
 林正夫  
 茨木貴  
 岸田芋  
 大西和幸  
 木内光良  
 俊野徹人  
 渡邊三則  
 三木毅  
 青柳俊彦  
 井上正一郎  
 松尾博行  
 安部正定  
 俣木正喜  
 石原昌弘  
 植村裕之  
 塚本素晴  
 中本和洋  
 下村博文  
 土崎祐一郎  
 三田村裕  
 林直人  
 冲山栄一

## 大会委員長

全日本剣道連盟専務理事

中谷行道

## 大会副委員長

全剣連普及担当常任理事

藤原崇郎

全剣連審判担当常任理事

香田郡秀子

全剣連女子担当常任理事

佐藤厚子

(一)長野県剣連専務理事

塩崎正昭

## 大会委員

全日本剣道連盟常任理事

亀井徹

〃

軽米満世

〃

寺崎邦朗

〃

内藤常史

〃

百鬼木訓隆

〃

舟田実文

〃

蒔田明

〃

神谷壽和

全日本剣道連盟理事

安部藤忠善

〃

伊藤里昌輝

〃

上大嶽將文

〃

大鹿内純修

〃

下諸孝

〃

田上雅治

〃

武田牧雄

〃

千葉胤紀

〃

中奈良隆志

〃

奈増武吉

〃

増松下悦郎

〃

松田勇人

〃

米倉滋子

〃

安部保洋

〃

小風篤生

〃

青木千代

〃

石塚美文

〃

大高ラビンニユ

〃

大矢稔治

〃

天津嶋冠大

〃

浪岡川

〃

西林達

〃

西川

〃

浪岡大

〃

西林

〃

浪岡大

〃

浪岡大

〃

浪岡大

〃

浪岡大

〃

浪岡大

〃

浪岡大

## 競技役員割当表 (順不同)

実行委員長	網代 忠宏				
実行委員	藤原 崇郎 仲 康隆 高橋 嶺 澤飯 功明 鈴木 徳之	香田 郡秀 青木 孝 長濱 直弥 和栗 諒人 新美 俊太郎	佐藤 厚子 高澤 彰 斎藤 諒 吉田 真子 鈴木 淳子	清野 忍 小林 晋一 矢野 雅之 遠藤 尚人	姫野 純二 加古 恵 吉川 彰一 野澤 豪
総務係 受付・式典・竹刀検査係	常田 政邦 倉石 秀章 原山 英章	土屋 貴文 北村 聡 北條 度之	廣野 準一 小林 昌史 宮下 和樹	鈴木 道穂 山口 修一郎 二木 はる菜	中島 浩美 横田 善史
放送係 選手・試合係	後藤 将史 近藤 敏朗 田端 英樹 澤田 かおり 宮澤 実子	塩入 美雪 石田 久人 綱島 範士 藤田 芽生 南都 美香子	安藤 暁子 笠井 識敬 中沢 道彦 溝辺 いずみ	清澤 義郎 穂刈 士郎 町田 育哉	小林 和夫 小間沢 真弓 五十嵐 元一
第1試合場係	主 任 時 計 掲 示 記 録	大草 務 朝田 将幸 丹羽 貴 神津 純	宮嶋 敬一 仁木 邦彦 前嶋 功	柳 沢 剛	
第2試合場係	主 任 時 計 掲 示 記 録	榛葉 亨 西澤 佳志 佐藤 勉 藤原 慎吾	小林 義周 竹内 泰久 山岸 禅	宮崎 浩	
第3試合場係	主 任 時 計 掲 示 記 録	野村 正樹 松島 良次 安藤 晴樹 石坂 仁	松山 俊昭 飯島 涼太 桐山 真一	小林 純也	
第4試合場係	主 任 時 計 掲 示 記 録	北澤 直樹 小林 慎弥 井上 盛夫 清水 亨	野口 陽造 小林 悠哉 前嶋 輝	廣前 治泰	
救護係 接待係	安川 泰樹 二木 むつみ 島田 千春 山口 雅子	安川 紘矢 太田 あけ美 戸井田 明梨 渡邊 千鶴子	大塚 留美 萩原 千夏	岡村 さつき 藤岡 瑞帆	上条 寛子 宮下 花梨
警備(会場)・コロナ対策係	町田 明彦 片山 浩一 滝澤 大輔 山本 慎一	市村 涉 神田 文人 田仲 洋一 吉岡 信幸	楠本 真之 北澤 隆 檀原 勇	浅岡 義樹 金森 健志 西澤 剛	青木 洋謙 坂下 繁行 羽田 洋
駐車場係	信州大学剣道部				

# 審判員

審判長 剣道範士 宮川英俊	副審判長 剣道範士 中田琇士	審判主任 剣道範士 高橋俊昭	剣道範士 鈴木敏雄	剣道範士 宮原昇治
剣道範士 石塚美文	剣道範士 二子石貴資	剣道範士 塚本博之	剣道範士 水田重則	剣道範士 宮原昇治
剣道範士 笠村浩二	剣道範士 西川清紀	剣道範士 大城戸功	剣道範士 佐藤桂生	剣道範士 東良美
剣道範士 谷勝彦	剣道範士 松田勇人	剣道範士 下島貴代一	剣道範士 船津晋治	剣道範士 田島誠
剣道範士 重松隆	剣道範士 右田重昭	剣道範士 栗田和市郎		

## 第68回 全日本剣道選手権大会 審判員割当表

審判長・宮川英俊（福岡）

副審判長・中田琇士（東京）

### 第1試合場

主任・高橋俊昭（京都）

- 1組
  - 石塚美文（大阪）
  - 西川清紀（東京）
  - 重松隆（滋賀）
- 2組
  - 笠村浩二（神奈川）
  - 大城戸功（愛媛）
  - 下島貴代一（岐阜）
- 3組
  - 宮原昇治（静岡）
  - 佐藤桂生（兵庫）
  - 栗田和市郎（東京）

### 第2試合場

主任・鈴木敏雄（北海道）

- 1組
  - 二子石貴資（兵庫）
  - 東良美（愛知）
  - 松田勇人（奈良）
- 2組
  - 水田重則（茨城）
  - 船津晋治（大阪）
  - 右田重昭（東京）
- 3組
  - 塚本博之（東京）
  - 谷勝彦（群馬）
  - 田島誠（鹿児島）

[備考] ( ) 内は、登録の都道府県剣道連盟。

# 審判員

審判長 劍道範士 宮川英俊 	副審判長 劍道範士 濱崎満 	審判主任 劍道範士 小坂達明 	劍道範士 豊村東盛 	
劍道教士 佐藤さとみ 	劍道教士 金子優香理 	劍道教士 古谷崇子 	劍道教士 飯田通子 	劍道教士 高橋由美子 
劍道教士 山崎広子 	劍道教士 石原たまみ 	劍道教士 富多ちはり 	劍道教士 井上美奈子 	劍道教士 尾山王子 
劍道教士 道内由佳里 	劍道教士 橋本彰子 	劍道教士 西田康子 	劍道教士 中本利子 	劍道教士 小西真里 
劍道教士 阿部都貴子 	劍道教士 忠政美樹 	劍道教士 藤田弘美 		

## 第59回 全日本女子剣道選手権大会 審判員割当表

審判長・宮川英俊(福岡)

副審判長・濱崎満(東京)

### 第3試合場

主任・小坂達明(大阪)

- |    |   |           |
|----|---|-----------|
| 1組 | — | 佐藤さとみ(福島) |
|    | — | 山崎広子(愛知)  |
|    | — | 尾山王子(富山)  |
| 2組 | — | 金子優香理(埼玉) |
|    | — | 富多ちはり(岐阜) |
| 3組 | — | 西田康子(大阪)  |
|    | — | 飯田通子(東京)  |
|    | — | 石原たまみ(愛知) |

### 第4試合場

主任・豊村東盛(東京)

- |    |   |            |
|----|---|------------|
| 1組 | — | 高橋由美子(神奈川) |
|    | — | 道内由佳里(福井)  |
|    | — | 忠政美樹(岡山)   |
| 2組 | — | 古谷崇子(東京)   |
|    | — | 橋本彰子(京都)   |
| 3組 | — | 阿部都貴子(兵庫)  |
|    | — | 井上美奈子(三重)  |
|    | — | 小西真里(兵庫)   |

[備考] ( )内は、登録の都道府県剣道連盟。

# 第 68 回 全 日 本 剣 道

	段位	出場 回数	氏 名	選出県	1 回戦	2 回戦	3 回戦	4 回戦	準決勝	決
1	五段	初	山川 泰二	(沖 縄)	1					
2	錬六	初	二橋 光哉	(静 岡)	1	33				
3	六段	初	石田 雄二	(東 京)	2					
4	五段	②	白木恒二郎	(徳 島)	2		49			
5	四段	初	杉本 航輝	(神奈川)	3					
6	錬六	初	山崎 洵	(秋 田)	3	34				
7	三段	初	和田 優人	(三 重)	4					
8	五段	⑤	山田 侑希	(奈 良)	4			57		
9	錬六	初	吉田真佐義	(和歌山)	5					
10	六段	初	宮崎 東平	(長 崎)	5	35				
11	五段	初	本間 建成	(広 島)	6					
12	錬七	初	軽米 拓磨	(千 葉)	6		50			
13	五段	初	矢野 博之	(長 野)	7					
14	五段	⑤	菅野 隆介	(岩 手)	7	36				
15	四段	③	松崎賢士郎	(茨 城)	8					
16	五段	初	高 優司	(大 阪)	8					
17	錬六	④	木村 友哉	(新 潟)	9				61	
18	四段	初	甲斐 勇太	(福 岡)	9	37				
19	五段	初	村富 聖気	(東 京)	10					
20	四段	初	榮 翔平	(兵 庫)	10		51			
21	四段	初	本間 涉	(千 葉)	11					
22	四段	初	星子 啓太	(鹿 児 島)	11	38				
23	四段	初	佐賀 駿介	(北 海 道)	12					
24	六段	初	金子 裕晃	(群 馬)	12					
25	五段	初	泉 和毅	(埼 玉)	13			58		
26	三段	初	岩部 光	(香 川)	13	39				
27	五段	初	川崎 輝士	(佐 賀)	14					
28	五段	④	武田 直大	(宮 城)	14		52			
29	四段	初	八木 聖真	(滋 賀)	15					
30	錬六	②	上田 大輔	(鳥 取)	15	40				
31	三段	初	安藤 千真	(愛 知)	16					
32	四段	初	光石 理人	(山 梨)	16					

# 選手権大会組合せ

勝	準決勝	4回戦	3回戦	2回戦	1回戦	段位	出場	氏名	選出県
					33	教七 ②		山本 有樹	(東京)
				41	17	34	錬六 ①	梶原 大輔	(大分)
			53		18	35	五段 ①	松田匠太郎	(高知)
					19	36	四段 ①	幡中 聖也	(岡山)
				42	20	37	六段 ①	竹越 充	(埼玉)
					21	38	六段 ①	三田 大輔	(福島)
					22	39	五段 ②	村上 雷多	(大阪)
				43	23	40	錬六 ③	寺島 光紀	(富山)
					24	41	四段 ①	森山 竜成	(神奈川)
					25	42	五段 ③	藤岡 弘径	(福岡)
			54		26	43	六段 ①	尾崎 泰之	(石川)
					27	44	四段 ①	橋本 将輝	(京都)
				44	28	45	四段 ①	杉田龍太郎	(岐阜)
					29	46	五段 ③	山下 和真	(茨城)
					30	47	五段 ①	三條 恵介	(山形)
					31	48	五段 ①	今村 侑資	(熊本)
				45	32	49	四段 ①	白鳥 湧也	(千葉)
					33	50	六段 ①	佐伯 太郎	(宮崎)
					34	51	三段 ①	長田 悠樹	(静岡)
					35	52	五段 ①	沖本 淳樹	(山口)
			55		36	53	錬七 ①	椿 武	(兵庫)
					37	54	六段 ①	高橋 照知	(愛媛)
				46	38	55	四段 ①	塚尾 凌河	(青森)
					39	56	四段 ①	中嶋 優樹	(東京)
					40	57	四段 ①	野崎 将秀	(北海道)
				47	41	58	五段 ①	日下 達基	(大阪)
					42	59	三段 ①	大平 翔士	(栃木)
					43	60	五段 ③	林田 匡平	(福井)
			60		44	61	四段 ①	近本 太郎	(愛知)
					45	62	五段 ①	高瀬 遼太	(島根)
				48	46	63	錬六 ②	林田 浩志	(福岡)
					47	64	教七 ⑥	橋本 桂一	(埼玉)
					48				
63	62								

1	2	3	4	5	6	7	8
							
沖縄県代表 やまかわ たいじ <b>山川泰二</b> (29歳)	静岡県代表 にしはしみつや <b>二橋光哉</b> (35歳)	東京都代表 いしだ ゆうじ <b>石田雄二</b> (32歳)	徳島県代表 しらきこうじろう <b>白木恒二郎</b> (28歳)	神奈川県代表 すぎもと こうき <b>杉本航輝</b> (21歳)	秋田県代表 やまざき じゅん <b>山崎 洵</b> (32歳)	三重県代表 わだ ゆうと <b>和田優人</b> (21歳)	奈良県代表 やまだ ゆうき <b>山田侑希</b> (28歳)
1. 五段	1. 錬士六段	1. 六段	1. 五段	1. 四段	1. 錬士六段	1. 三段	1. 五段
2. 大工	2. 会社員 (株ミダック)	2. 会社員 (大塚家具(株))	2. 教員 (川島高)	2. 学生 (日本体育大4年)	2. 教員 (熊代高)	2. 学生 (大阪体育大3年)	2. 会社員 (パナソニック(株))
3. 大阪体育大卒	3. 中京大卒	3. 国士舘大卒	3. 国士舘大卒	3.	3. 筑波大卒	3.	3. 関西大卒
4. 沖縄県出身	4. 静岡県出身	4. 東京都出身	4. 徳島県出身	4. 神奈川県出身	4. 秋田県出身	4. 三重県出身	4. 奈良県出身
5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●全日本学生大会団体・個人出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全日本学生大会団体・個人出場 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会個人2位	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全日本学生大会団体2位・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会個人出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体出場 ●全国高校大会個人出場	5. ●選手権大会5回目出場 ●全日本実業団大会優勝2回

9	10	11	12	13	14	15	16
							
和歌山県代表 よしだ まさよし <b>吉田真佐義</b> (35歳)	長崎県代表 みやざき とうへい <b>宮崎東平</b> (33歳)	広島県代表 ほん まつなり <b>本間建成</b> (25歳)	千葉県代表 かる こめたくま <b>軽米拓磨</b> (38歳)	長野県代表 や の ひろゆき <b>矢野博之</b> (26歳)	岩手県代表 かんの りゆうすけ <b>菅野隆介</b> (29歳)	茨城県代表 まつざきけん しろう <b>松崎賢士郎</b> (22歳)	大阪府代表 こう ゆうじ <b>高 優司</b> (31歳)
1. 錬士六段	1. 六段	1. 五段	1. 錬士七段	1. 五段	1. 五段	1. 四段	1. 五段
2. 会社員 (トールエクスプレスジャパン(株))	2. 教員 (瓊浦高)	2. 刑務所 (広島刑務所)	2. 教員 (京葉高)	2. 教員 (文化学園長野高)	2. 教員 (福岡高)	2. 学生 (筑波大4年)	2. 会社員 (パナソニック(株))
3. 鹿屋体育大卒	3. 筑波大卒	3. 新南陽高卒	3. 国士舘大卒	3. 国士舘大卒	3. 国士舘大卒	3.	3. 中央大卒
4. 和歌山県出身	4. 長崎県出身	4. 広島県出身	4. 千葉県出身	4. 東京都出身	4. 宮城県出身	4. 長崎県出身	4. 大阪府出身
5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全日本実業団大会3位2回 ●全日本学生大会団体優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会団体優勝2位・個人2位 ●全日本学生大会団体2位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国矯正職員大会3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会3位2回 ●全国教職員大会団体優勝・個人3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会5回目出場 ●全国教職員大会個人3位2回 ●国体優勝	5. ●選手権大会3回目出場2位 ●都道府県対抗大会2位 ●全日本学生大会団体2位2回・個人2位 ●国体優勝4回	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会3位2回 ●全日本実業団大会優勝2回2位2回 ●全日本学生大会団体2位 ●国体出場

<p>17</p>  <p>新潟県代表 きむらともや <b>木村友哉</b> (33歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 刑務官 (新潟刑務所) 3. 日本体育大卒 4. 新潟県出身 5. ●選手権大会4回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●国体出場</p>	<p>18</p>  <p>福岡県代表 かいゆうた <b>甲斐勇太</b> (30歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (株式会社西日本シティ銀行) 3. 早稲田大卒 4. 宮崎県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全日本実業団大 会優勝1回2位1 回3位2回 ●全日本学生大会 団体優勝</p>	<p>19</p>  <p>東京都代表 むらとみせい <b>村富聖気</b> (27歳)</p> <p>1. 五段 2. 大学職員 (国士舘大) 3. 国士舘大卒 4. 熊本県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会3位 ●全国教職員大会 団体2位</p>	<p>20</p>  <p>兵庫県代表 さかえしやうへい <b>榮 翔平</b> (31歳)</p> <p>1. 四段 2. 刑務官 (神戸刑務所) 3. 京都産業大卒 4. 兵庫県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国矯正職員大 会団体3位・個人 3位 ●全日本学生大会 個人出場</p>	<p>21</p>  <p>千葉県代表 ほんましやう <b>本間 渉</b> (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (三井住友海上火災保険株) 3. 中央大卒 4. 千葉県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会優勝 ●全日本学生大会 団体優勝2回・個 人出場 ●全国高校大会優勝 ●全国高校選抜大 会優勝</p>	<p>22</p>  <p>鹿児島県代表 ほしこけいた <b>星子啓太</b> (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大4年) 3. 4. 鹿児島県出身 5. ●選手権大会初出場 ●世界大会団体優勝 ●全日本学生大会 個人優勝</p>	<p>23</p>  <p>北海道代表 さがしゆんすけ <b>佐賀駿介</b> (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 刑務官 (札幌刑務所) 3. 日本大卒 4. 北海道出身 5. ●選手権大会初出場 ●国体出場</p>	<p>24</p>  <p>群馬県代表 かねこひろあき <b>金子裕晃</b> (38歳)</p> <p>1. 六段 2. 教員 (渋川青翠高) 3. 筑波大卒 4. 群馬県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国教職員大会 団体3位</p>
---	---	---	--	---	---	--	---

<p>25</p>  <p>埼玉県代表 いずみかずき <b>泉 和毅</b> (26歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (川口北高) 3. 順天堂大卒 4. 埼玉県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会優勝 ●全国教職員大会 出場 ●全国高校選抜大 会優勝 ●国体2位</p>	<p>26</p>  <p>香川県代表 いわぶひかる <b>岩部 光</b> (20歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (国士舘大2年) 3. 4. 香川県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会2位 ●全国高校選抜大 会2位</p>	<p>27</p>  <p>佐賀県代表 かわさきこうじ <b>川崎輝士</b> (31歳)</p> <p>1. 五段 2. 会社員 (川崎工業所) 3. 日本体育大卒 4. 佐賀県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国警察官大会 団体優勝2回 ●全日本学生大会 団体2位1回3位2回 ●全国高校大会 団体優勝 ●国体優勝1回2位 2回</p>	<p>28</p>  <p>宮城県代表 たけだなおひろ <b>武田直大</b> (30歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (石巻北高) 3. 国士舘大卒 4. 宮城県出身 5. ●選手権大会4回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 団体3位・個人3 位 ●国体出場</p>	<p>29</p>  <p>滋賀県代表 やぎしやうま <b>八木聖真</b> (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (国士舘大4年) 3. 4. 滋賀県出身 5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全日本学生大会 個人出場</p>	<p>30</p>  <p>鳥取県代表 うえだだいすけ <b>上田大輔</b> (32歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 団体職員 (鳥取県立武道館) 3. 国士舘大卒 4. 鳥取県出身 5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会出場</p>	<p>31</p>  <p>愛知県代表 あんどうかずま <b>安藤千真</b> (20歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (立命館大2年) 3. 4. 愛知県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体出場 ●全国高校大会 ●全国高校選抜大 会出場 ●国体出場</p>	<p>32</p>  <p>山梨県代表 みついしまさと <b>光石理人</b> (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (社会福祉法人山梨製の会) 3. 国士舘大卒 4. 山梨県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会 団体・個人出場</p>
--	--	--	---	---	--	--	---

33	34	35	36	37	38	39	40
							
東京都代表 やま もと ゆう き <b>山本有樹</b> (45歳)	大分県代表 かじ わら だい すけ <b>梶原大輔</b> (34歳)	高知県代表 まつ だしょうた ろう <b>松田匠太郎</b> (25歳)	岡山県代表 はた なか まさ や <b>幡中聖也</b> (21歳)	埼玉県代表 たけ こし みつる <b>竹越 充</b> (33歳)	福島県代表 み た だい すけ <b>三田大輔</b> (34歳)	大阪府代表 むら かみ らい た <b>村上雷多</b> (31歳)	富山県代表 てら しま こう き <b>寺島光紀</b> (33歳)
1. 教士七段	1. 錬士六段	1. 五段	1. 四段	1. 六段	1. 六段	1. 五段	1. 錬士六段
2. 会社員 (NTTコミュニケーションズ株)	2. 教員 (由布支援学校)	2. 団体職員 (岡豊高)	2. 学生 (国士館大3年)	2. 会社員 (NTTコミュニケーションズ株)	2. 教員 (福島西高)	2. 教員 (大阪体育大)	2. 教員 (高岡工芸高)
3. 早稲田大卒	3. 日本体育大卒	3. 東海大卒	3.	3. 早稲田大卒	3. 筑波大卒	3. 筑波大大学院卒	3. 筑波大卒
4. 福岡県出身	4. 大分県出身	4. 高知県出身	4. 岡山県出身	4. 埼玉県出身	4. 福島県出身	4. 北海道出身	4. 富山県出身
5. ●選手権大会2回目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大会優勝3回 ●全日本実業団大会優勝3回 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国教職員大会出場団体3位3回・個人優勝3回 ●全日本学生大会団体3位・個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全日本実業団大会優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会団体3位・個人優勝 ●国体出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●都道府県対抗大会3位 ●全国教職員大会団体優勝2回・個人2位	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会個人優勝3位 ●全日本学生大会団体2位・個人3位 ●国体出場

41	42	43	44	45	46	47	48
							
神奈川県代表 もり やま りゅう せい <b>森山竜成</b> (21歳)	福岡県代表 ふじ おか ひろ みち <b>藤岡弘径</b> (30歳)	石川県代表 お ぎ き や す ゆ き <b>尾崎泰之</b> (43歳)	京都府代表 は し も と ま さ き <b>橋本将輝</b> (22歳)	岐阜県代表 す ぎ た り ゆ う た ろ う <b>杉田龍太郎</b> (21歳)	茨城県代表 や ま し た か ず ま <b>山下和真</b> (27歳)	山形県代表 さん じょう けい す けい <b>三條恵介</b> (37歳)	熊本県代表 い ま む ら ゆ う す け <b>今村侑資</b> (27歳)
1. 四段	1. 五段	1. 六段	1. 四段	1. 四段	1. 五段	1. 五段	1. 五段
2. 学生 (筑波大3年)	2. 教員 (福岡第一高)	2. 刑務官 (金沢刑務所)	2. 学生 (筑波大4年)	2. 学生 (鹿屋体育大3年)	2. 教員 (茗溪学園中・高)	2. 歯科医師	2. 刑務官 (熊本刑務所)
3.	3. 国士館大卒	3. 亜細亜大卒	3.	3.	3. 筑波大卒	3. 東京歯科大学卒	3. 大阪体育大卒
4. 神奈川県出身	4. 宮崎県出身	4. 長崎県出身	4. 京都府出身	4. 岐阜県出身	4. 茨城県出身	4. 山形県出身	4. 熊本県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体2位	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県対抗大会優勝 ●全国教職員大会団体優勝・個人優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体2位2回・個人出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国高校大会団体・個人出場 ●全国高校選抜大会2位	5. ●選手権大会3回目出場 ●都道府県対抗大会2位3位 ●全国教職員大会団体優勝・個人優勝 ●全日本学生大会団体優勝2回	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会個人出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大会出場 ●全国矯正職員大会団体優勝 ●全日本学生大会個人3位

49	50	51	52	53	54	55	56
							
千葉県代表 しらとりゆうや <b>白鳥湧也</b> (22歳)	宮崎県代表 さえきたろう <b>佐伯太郎</b> (30歳)	静岡県代表 おさだゆうき <b>長田悠樹</b> (21歳)	山口県代表 おきもとじゅんき <b>沖本淳樹</b> (26歳)	兵庫県代表 つばき たけし <b>椿 武</b> (38歳)	愛媛県代表 たかほし てるとも <b>高橋照知</b> (36歳)	青森県代表 つかおりのうが <b>塚尾凌河</b> (22歳)	東京都代表 なかしまゆうき <b>中嶋優樹</b> (23歳)
1. 四段	1. 六段	1. 三段	1. 五段	1. 錬士七段	1. 六段	1. 四段	1. 四段
2. 学生 (筑波大4年)	2. 教員 (高千穂高)	2. 学生 (同志社大3年)	2. 教員 (市立日積小)	2. 教員 (神戸親和女子大)	2. 教員 (今治精華高)	2. 学生 (日本体育大4年)	2. 会社員 (三菱商事株)
3.	3. 筑波大卒	3.	3. 日本体育大卒	3. 鹿屋体育大大学院 卒	3. 国際武道大卒	3.	3. 早稲田大卒
4. 千葉県出身	4. 宮崎県出身	4. 静岡県出身	4. 山口県出身	4. 群馬県出身	4. 愛媛県出身	4. 青森県出身	4. 東京都出身
5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体2位・個人3 位	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 団体3位・個人2 位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団 体出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国教職員大会 出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国教職員大会 出場 ●全日本学生大会 個人出場 ●全国高校大会出場	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会2位 ●全国教職員大会 団体・個人3位 ●全日本学生大会 団体3位	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国高校大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体・個人出場

57	58	59	60	61	62	63	64
							
北海道代表 のぎまさひで <b>野崎将秀</b> (21歳)	大阪府代表 くさか たつ き <b>日下達基</b> (29歳)	栃木県代表 おおひらしょうし <b>大平翔士</b> (20歳)	福井県代表 はやしだきょうへい <b>林田匡平</b> (27歳)	愛知県代表 ちかもと た ろう <b>近本太郎</b> (21歳)	島根県代表 たか せりょう た <b>高瀬遼太</b> (27歳)	福岡県代表 はやしだ ひろ し <b>林田浩志</b> (37歳)	埼玉県代表 はしもと けい いち <b>橋本桂一</b> (40歳)
1. 四段	1. 五段	1. 三段	1. 五段	1. 四段	1. 五段	1. 錬士六段	1. 教士七段
2. 学生 (東京学芸大3年)	2. 会社員 (パナソニック株)	2. 学生 (筑波大2年)	2. 教員 (丸岡高)	2. 学生 (筑波大3年)	2. 教員 (私立出雲西高)	2. 刑務官 (福岡刑務所)	2. 会社員 (伊田テクノス株)
3.	3. 法政大卒	3.	3. 筑波大卒	3.	3. 大阪体育大卒	3. 福岡教育大卒	3. 帝京大卒
4. 北海道出身	4. 岡山県出身	4. 東京都出身	4. 長崎県出身	4. 愛知県出身	4. 滋賀県出身	4. 長崎県出身	4. 埼玉県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会 団体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本実業団大 会優勝3位 ●全日本学生大会 団体2位 ●全国高校大会団体出場 ●全国高校選抜大会3位 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会個人 優勝・2位	5. ●選手権大会3回 目出場3位 ●全国教職員大会 個人優勝 ●全日本学生大会 団体優勝・個人 優勝 ●国体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大 会優勝	5. ●選手権大会初出場 ●都道府県対抗大 会出場 ●全国教職員大会 出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●都道府県対抗大 会2位	5. ●選手権大会6回 目出場 ●東西対抗大会出場 ●都道府県対抗大 会優勝3位各1回 ●全日本実業団大会2位 ●全日本学生大会 個人3位 ●国体優勝

# 第59回全日本女子剣

	段位	出場 回数	氏名	選出県	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	準決勝	決
1	四段	初	福田安優子	(北海道)	1					
2	三段	初	大西 莉央	(熊本)		33				
3	三段	初	松下 夏生	(東京)	2					
4	四段	②	松本 泉帆	(和歌山)			49			
5	三段	初	深見 恵子	(兵庫)	3					
6	五段	⑥	大西ななみ	(福井)		34				
7	四段	②	菅原 悠佳	(島根)	4					
8	三段	初	内藤 栞	(山梨)				57		
9	三段	初	堀 由美恵	(滋賀)	5					
10	三段	初	坪井 香歩	(徳島)		35				
11	四段	初	竹内 祐貴	(愛知)	6					
12	四段	⑤	竹中 美帆	(栃木)			50			
13	四段	初	田添 千尋	(千葉)	7					
14	二段	初	池内 千乃	(山口)		36				
15	三段	初	鈴木 碧	(宮城)	8					
16	三段	初	中村 日南	(佐賀)						
17	三段	初	酒井 紫	(山形)	9					61
18	四段	②	濱田 裕佳	(茨城)		37				
19	五段	初	津野 暁美	(高知)	10					
20	四段	③	小川梨々香	(新潟)			51			
21	七段	⑮	内田さくら	(静岡)	11					
22	四段	初	新開 樹里	(福岡)		38				
23	三段	初	素川 佳子	(大阪)	12					
24	三段	初	小川 真英	(埼玉)				58		
25	五段	②	飯島 咲季	(長野)	13					
26	三段	初	諸岡 温子	(東京)		39				
27	四段	初	乗田 美紀	(三重)	14					
28	三段	初	水川 晴奈	(岡山)			52			
29	三段	初	上野 碧泉	(福島)	15					
30	錬七	⑬	宮路早恵子	(京都)		40				
31	五段	⑤	齋藤 美紀	(神奈川)	16					
32	四段	③	村田 桃子	(鹿児島)						

# 道選手権大会組合せ

勝	準決勝	4回戦	3回戦	2回戦	1回戦	段位	番	氏名	選出県	
					33	三段	初	藤井 梨衣	(鳥 取)	
				41	17	34	六段	初	本川 愛梨	(東 京)
			53		18	35	三段	初	大西真奈未	(兵 庫)
						36	四段	②	山崎 里奈	(宮 崎)
				42	19	37	五段	初	山村 貴恵	(埼 玉)
						38	三段	初	金子 遙花	(愛 知)
					20	39	四段	初	竹内 彩乃	(富 山)
						40	三段	初	須浪 優加	(香 川)
		59		43	21	41	三段	初	中野 美里	(千 葉)
						42	四段	初	大城 春佳	(沖 縄)
			54		22	43	四段	初	藤賀 玲奈	(広 島)
				44		44	六段	②	金田一裕美	(岩 手)
					23	45	教七	⑪	須坂 喜江	(長 野)
						46	四段	初	奥谷 茉子	(大 分)
					24	47	三段	初	杉本 咲妃	(神奈川)
						48	四段	初	中原 光紗	(大 阪)
				45	25	49	三段	初	岩本 瑚々	(長 崎)
						50	四段	④	相原 清乃	(奈 良)
					26	51	六段	⑫	加藤 由佳	(秋 田)
						52	五段	初	堀込 望	(群 馬)
			55		27	53	五段	⑤	志藤 綾子	(埼 玉)
				46		54	四段	④	土居 裕佳	(石 川)
					28	55	三段	初	外山 菜緒	(岐 阜)
						56	四段	初	桜井陽奈子	(東 京)
					29	57	四段	初	紺本 楓	(大 阪)
				47		58	三段	初	平山まりん	(愛 知)
					30	59	三段	初	大津ももか	(福 岡)
						60	三段	初	吉武 礼絵	(千 葉)
		60			31	61	錬六	初	中島 郁子	(新 潟)
				48		62	四段	⑤	小松 加奈	(青 森)
						63	四段	初	渡邊 茜	(愛 媛)
			56		32	64	四段	初	海津みなみ	(茨 城)
63	62									

1	2	3	4	5	6	7	8
							
北海道代表 ふくだ あゆこ <b>福田安優子</b> (22歳)	熊本県代表 おおにし りお <b>大西莉央</b> (18歳)	東京都代表 まつした なつ は <b>松下夏生</b> (20歳)	和歌山県代表 まつもと みず ほ <b>松本泉帆</b> (22歳)	兵庫県代表 ふか み けい こ <b>深見恵子</b> (19歳)	福井県代表 おおにし <b>大西ななみ</b> (25歳)	島根県代表 すが ほら ゆう か <b>菅原悠佳</b> (21歳)	山梨県代表 ない とう しおり <b>内藤 梨</b> (18歳)
1. 四段	1. 三段	1. 三段	1. 四段	1. 三段	1. 五段	1. 四段	1. 三段
2. 学生 (明治大4年)	2. 高校生 (八代百百合学園高3年)	2. 学生 (早稲田大2年)	2. 学生 (鹿屋体育大4年)	2. 学生 (明治大1年)	2. 教員 (福井県立敦賀高)	2. 学生 (島根大3年)	2. 高校生 (茨城県立守谷高3年)
3.	3.	3.	3.	3.	3. 筑波大卒	3.	3.
4. 北海道出身	4. 群馬県出身	4. 静岡県出身	4. 和歌山県出身	4. 兵庫県出身	4. 鹿児島県出身	4. 島根県出身	4. 山梨県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生 大会団体2位2回	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会出場	5. ●選手権大会初出場 ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体出場 ●全国高校選抜大会3位 ●全国中学校大会 団体出場	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全日本女子学生 大会団体優勝2 位3位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体 出場2回・個人 出場1回 ●全国高校選抜大会 3位 ●国体出場2回	5. ●選手権大会6回 目出場2位3位 ●全国教職員大会 優勝 ●全日本女子学生 大会個人優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会2回 目出場 ●全日本女子学生 大会個人出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会 2位	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会2 位 ●国体優勝

9	10	11	12	13	14	15	16
							
滋賀県代表 ほり ゆ み え <b>堀由美恵</b> (19歳)	徳島県代表 つばい かほ <b>坪井香歩</b> (21歳)	愛知県代表 たけうち ゆ き <b>竹内祐貴</b> (25歳)	栃木県代表 たけなか み ほ <b>竹中美帆</b> (23歳)	千葉県代表 たぞえ ち ひろ <b>田添千尋</b> (20歳)	山口県代表 いけうち ち の <b>池内千乃</b> (19歳)	宮城県代表 すずき みどり <b>鈴木 碧</b> (18歳)	佐賀県代表 なかむら ひな <b>中村日南</b> (19歳)
1. 三段	1. 三段	1. 四段	1. 四段	1. 四段	1. 二段	1. 三段	1. 三段
2. 学生 (大阪体育大1年)	2. 学生 (環太平洋大3年)	2. 会社員 (パナソニックデバイスSUNX株)	2. 団体職員 (栃木県スポーツ専門員)	2. 学生 (清和大2年)	2. 学生 (徳山大1年)	2. 高校生 (宮城県小牛田農林高3年)	2. 学生 (日本体育大1年)
3.	3.	3. 四條囃学園短期大 卒	3. 筑波大卒	3.	3.	3.	3.
4. 滋賀県出身	4. 徳島県出身	4. 奈良県出身	4. 鳥取県出身	4. 長崎県出身	4. 山口県出身	4. 宮城県出身	4. 佐賀県出身
5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対 抗大会出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会 出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生 大会団体出場2 回・個人出場2回 ●全国高校大会団体 出場3位 ●全国高校選抜大会 出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生 大会個人3位 ●全国高校大会団体 出場2回 ●全国高校選抜大会 出場2回	5. ●選手権大会5回 目出場3位 ●世界大会団体優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体 出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会個人 出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体・個人 出場 ●全国高校選抜大会 出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体 出場 ●国体出場

17	18	19	20	21	22	23	24
							
山形県代表 さかい ゆかり <b>酒井 紫</b> (18歳)	茨城県代表 はまだ ゆうか <b>濱田裕佳</b> (20歳)	高知県代表 つ の あき み <b>津野暁美</b> (29歳)	新潟県代表 おがわり りか <b>小川梨々香</b> (21歳)	静岡県代表 うちだ さくら <b>内田さくら</b> (旧姓 坪井) (42歳)	福岡県代表 しんがい じゅり <b>新開樹里</b> (24歳)	大阪府代表 そがわ か こ <b>素川佳子</b> (19歳)	埼玉県代表 おがわ さな え <b>小川真英</b> (18歳)
1. 三段	1. 四段	1. 五段	1. 四段	1. 七段	1. 四段	1. 三段	1. 三段
2. 高校生 (山形県立左沢高3年)	2. 学生 (筑波大2年)	2. 教員 (高知県立山田高)	2. 学生 (日本体育大3年)	2. 学校職員 (磐田東中高)	2. 会社員 (福岡トヨペック株)	2. 学生 (天理大1年)	2. 高校生 (茨城県立守谷高3年)
3.	3.	3. 日本体育大卒	3.	3. 筑波大卒	3. 福岡大卒	3.	3.
4. 埼玉県出身	4. 北海道出身	4. 高知県出身	4. 新潟県出身	4. 徳島県出身	4. 福岡県出身	4. 大阪府出身	4. 埼玉県出身
5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体・個人出場 ●全国高校選抜大会出場	5. ●選手権大会2回目出場 ●全日本女子学生大会団体出場	5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場	5. ●選手権大会3回目出場 ●全日本女子学生大会団体3位・個人出場 ●全国高校選抜大会2位 ●国体3位	5. ●選手権大会15回目出場2位3位 ●世界大会団体優勝 ●東西対抗大会出場 ●全日本女子学生大会団体2位・個人2位 ●全国高校大会団体3位	5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体出場2回・個人出場1回	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会出場2回	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体2位・個人出場 ●国体優勝

25	26	27	28	29	30	31	32
							
長野県代表 い い じ ま さ き <b>飯島咲季</b> (旧姓 駒込) (32歳)	東京都代表 もろ おか あつ こ <b>諸岡温子</b> (20歳)	三重県代表 のり た み き <b>乗田美紀</b> (25歳)	岡山県代表 みず かわ はる な <b>水川晴奈</b> (18歳)	福島県代表 う え の おお い <b>上野碧泉</b> (20歳)	京都府代表 みや じ さ え こ <b>宮路早恵子</b> (旧姓 杉本) (40歳)	神奈川県代表 さいとう み き <b>齋藤美紀</b> (旧姓 山口) (30歳)	鹿児島県代表 むら た もも こ <b>村田桃子</b> (22歳)
1. 五段	1. 三段	1. 四段	1. 三段	1. 三段	1. 錬士七段	1. 五段	1. 四段
2. 教員 (長野市立柳町中)	2. 学生 (中央大2年)	2. 教員 (鈴鹿市立平田野中)	2. 高校生 (岡山県立西大寺高3年)	2. 学生 (日本体育大2年)	2. 教員 (京都市立塔南高)	2. 教員 (神奈川県立大和東高)	2. 学生 (鹿屋体育大4年)
3. 国際武道大卒	3.	3. 筑波大卒	3.	3.	3. 筑波大卒	3. 筑波大卒	3.
4. 長野県出身	4. 福岡県出身	4. 愛知県出身	4. 岡山県出身	4. 福島県出身	4. 京都府出身	4. 神奈川県出身	4. 福岡県出身
5. ●選手権大会2回目出場 ●全日本女子学生大会団体出場 ●全国高校大会個人出場	5. ●選手権大会初出場	5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体2位 ●全国高校選抜大会優勝 ●国体優勝	5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会優勝 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会出場 ●国体出場	5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体・個人出場 ●全国高校選抜大会3位	5. ●選手権大会13回目出場 ●世界大会個人優勝 ●全日本女子学生大会団体優勝2位・個人優勝 ●全国高校大会団体3位・個人3位 ●国体優勝2位3位	5. ●選手権大会5回目出場3位 ●女子都道府県対抗大会2位 ●全日本女子学生大会団体優勝2回2位1回	5. ●選手権大会3回目出場 ●女子都道府県対抗大会2位 ●全日本女子学生大会団体優勝2位3位

<p>33</p>  <p>鳥取県代表 ふじいりえ <b>藤井梨衣</b> (21歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (高知大3年) 3. 4. 鳥取県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体出場2回 ●全国高校大会出場</p>	<p>34</p>  <p>東京都代表 ほんかわあいら <b>本川愛梨</b> (旧姓 飯田) (32歳)</p> <p>1. 六段 2. 会社員 (NTTコエ, NTTぷらら) 3. 早稲田大卒 4. 東京都出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体優勝・個人3位 ●全国高校選抜大会優勝 ●国体2位</p>	<p>35</p>  <p>兵庫県代表 おにしなまみ <b>大西真奈未</b> (21歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (関西学院大3年) 3. 4. 大阪府出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体3位 ●全国高校大会団体・個人出場 ●国体出場</p>	<p>36</p>  <p>宮崎県代表 やまさきりな <b>山崎里奈</b> (21歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (明治大3年) 3. 4. 宮崎県出身</p> <p>5. ●選手権大会2回目出場 ●全日本女子学生大会団体2位2回・個人2位</p>	<p>37</p>  <p>埼玉県代表 やまむらきえ <b>山村貴恵</b> (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (幸手市立西中) 3. 筑波大卒 4. 佐賀県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会優勝 ●国体出場</p>	<p>38</p>  <p>愛知県代表 かねこはるか <b>金子遙花</b> (18歳)</p> <p>1. 三段 2. 高校生 (岡崎城西高3年) 3. 4. 愛知県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大会出場</p>	<p>39</p>  <p>富山県代表 たけうちあいの <b>竹内彩乃</b> (21歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (富山大3年) 3. 4. 富山県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場</p>	<p>40</p>  <p>香川県代表 すなみゆうか <b>須浪優加</b> (19歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (関西学院大1年) 3. 4. 香川県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大会出場2回 ●国体出場</p>
--	--	---	--	---	--	---	--

<p>41</p>  <p>千葉県代表 なかのみさと <b>中野美里</b> (20歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (順天堂大2年) 3. 4. 大分県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場</p>	<p>42</p>  <p>沖縄県代表 おおしるはるか <b>大城春佳</b> (26歳)</p> <p>1. 四段 2. 教員 (興南高) 3. 日本体育大卒 4. 沖縄県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体2位 ●全国高校大会団体出場3回</p>	<p>43</p>  <p>広島県代表 ふじがれな <b>藤賀玲奈</b> (20歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (立命館大2年) 3. 4. 広島県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会出場2回 ●全国高校大会団体・個人出場 ●全国高校選抜大会出場</p>	<p>44</p>  <p>岩手県代表 きんだいちゆうみ <b>金田一裕美</b> (33歳)</p> <p>1. 六段 2. 教員 (岩手県立盛岡第四高) 3. 東京学芸大卒 4. 岩手県出身</p> <p>5. ●選手権大会2回目出場 ●全国教職員大会出場 ●全国高校大会団体・個人出場 ●全国高校選抜大会出場2回 ●国体出場3回</p>	<p>45</p>  <p>長野県代表 すざかよしえ <b>須坂喜江</b> (44歳)</p> <p>1. 教士七段 2. 会社員 (NTT東日本) 3. 大阪体育大卒 4. 長野県出身</p> <p>5. ●選手権大会11回目出場 ●女子都道府県対抗大会3位 ●全日本実業団女子大会優勝1回2位2回 ●全日本女子学生大会団体・個人出場 ●国体出場</p>	<p>46</p>  <p>大分県代表 おくたにまこ <b>奥谷茉莉子</b> (19歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大1年) 3. 4. 大分県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会出場 ●全国高校大会団体優勝2回 ●全国高校選抜大会優勝 ●国体2位3位</p>	<p>47</p>  <p>神奈川県代表 すぎもとさき <b>杉本咲妃</b> (19歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (中央大1年) 3. 4. 神奈川県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体2位 ●全国高校選抜大会優勝</p>	<p>48</p>  <p>大阪府代表 なかほらありさ <b>中原光紗</b> (24歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (Panasonic株) 3. 明治大卒 4. 熊本県出身</p> <p>5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体優勝2位</p>
---	---	---	--	--	--	--	---

<p>49</p>  <p>長崎県代表 いわもと こ こ <b>岩本瑚々</b> (18歳)</p> <p>1. 三段 2. 高校生 (長崎県立島原高3年) 3. 4. 大分県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国高校選抜大会2位 ●国体2位3位</p>	<p>50</p>  <p>奈良県代表 あい はら さや の <b>相原清乃</b> (23歳)</p> <p>1. 四段 2. 会社員 (パナソニック(株)) 3. 立命館大卒 4. 奈良県出身 5. ●選手権大会4回目出場 ●全日本女子学生大会出場</p>	<p>51</p>  <p>秋田県代表 かとう ゆか <b>加藤由佳</b> (37歳)</p> <p>1. 六段 2. 教員 (秋田県立秋田北高) 3. 筑波大卒 4. 秋田県出身 5. ●選手権大会12回目出場 ●東西対抗大会出場 ●女子都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●国体出場</p>	<p>52</p>  <p>群馬県代表 ほり ごめ のぞみ <b>堀込 望</b> (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 教員 (高崎市立高松中) 3. 日本体育大卒 4. 群馬県出身 5. ●選手権大会初出場</p>	<p>53</p>  <p>埼玉県代表 しとう あやこ <b>志藤綾子</b> (28歳)</p> <p>1. 五段 2. 会社員 (伊田テクノス(株)) 3. 大東文化大卒 4. 山形県出身 5. ●選手権大会5回目出場 ●女子都道府県対抗大会出場2回 ●全日本実業団女子大会優勝 ●国体出場2回</p>	<p>54</p>  <p>石川県代表 どい ゆうか <b>土居裕佳</b> (25歳)</p> <p>1. 四段 2. 教員 (金沢高) 3. 筑波大卒 4. 香川県出身 5. ●選手権大会4回目出場 ●女子都道府県対抗大会出場 ●全日本女子学生大会団体3位2回・個人出場 ●全国高校大会団体優勝</p>	<p>55</p>  <p>岐阜県代表 とやま なお <b>外山菜緒</b> (21歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (筑波大3年) 3. 4. 岐阜県出身 5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会優勝 ●全日本女子学生大会個人出場 ●全国高校大会団体・個人出場 ●国体出場</p>	<p>56</p>  <p>東京都代表 さくらい ひなこ <b>桜井陽奈子</b> (20歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (明治大2年) 3. 4. 神奈川県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体3位・個人出場</p>
--	---	---	---	--	---	---	--

<p>57</p>  <p>大阪府代表 こんもと かえで <b>紺本 楓</b> (21歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (東海大3年) 3. 4. 大阪府出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本学生大会団体出場2回・個人出場1回 ●全国高校大会個人出場2回</p>	<p>58</p>  <p>愛知県代表 ひらやま <b>平山まりん</b> (19歳)</p> <p>1. 三段 2. 会社員 (トヨタ自動車(株)) 3. 樟南高卒 4. 愛知県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会出場 ●全国高校選抜大会3位</p>	<p>59</p>  <p>福岡県代表 おつ <b>大津ももか</b> (21歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (筑波大3年) 3. 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全国高校大会団体優勝2回 ●全国高校選抜大会優勝 ●国体3位</p>	<p>60</p>  <p>千葉県代表 よし たけ あや え <b>吉武礼絵</b> (21歳)</p> <p>1. 三段 2. 学生 (順天堂大3年) 3. 4. 福岡県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体出場 ●全国高校選抜大会2位</p>	<p>61</p>  <p>新潟県代表 なか じま ふみ こ <b>中島郁子</b> (35歳)</p> <p>1. 錬士六段 2. 教員 (新潟医療福祉大) 3. 浜松大大学院卒 4. 奈良県出身 5. ●選手権大会初出場 ●女子都道府県対抗大会出場 ●全国教職員大会出場 ●全日本女子学生大会団体・個人出場 ●全国高校大会出場 ●国体出場</p>	<p>62</p>  <p>青森県代表 こまつ かな <b>小松加奈</b> (22歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (明治大4年) 3. 4. 宮城県出身 5. ●選手権大会5回目出場 ●全日本女子学生大会団体2位2回・個人優勝</p>	<p>63</p>  <p>愛媛県代表 わたなべ あかね <b>渡邊 茜</b> (20歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大2年) 3. 4. 愛媛県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体・個人出場 ●全国高校大会個人2位 ●国体優勝2位</p>	<p>64</p>  <p>茨城県代表 かいつ <b>海津みなみ</b> (21歳)</p> <p>1. 四段 2. 学生 (筑波大3年) 3. 4. 熊本県出身 5. ●選手権大会初出場 ●全日本女子学生大会団体出場</p>
---	--	--	---	--	--	---	--

## 公開演武者の紹介

〔日本剣道形〕

演 武 者

水田重則  
剣道範士



打太刀

谷勝彦  
剣道範士



仕太刀

日本剣道形は、大正元年、各流派の優れた技をもとに制定されたもので、太刀の形7本、小太刀の形3本、計10本より成り立っております。最も理にかなった、刀の操作法が組み込まれており、剣道の神髄を追求し、技の理合を極めた剣道修練の基本となるものです。

## 大会等におけるビデオ撮影等について

全剣連が主催する大会、審査会、講習会及びその他の行事（以下「大会等」という。）における写真・動画の撮影及び音声の録音（以下「ビデオ撮影等」という。）並びに撮影した映像及び録音した音声（以下「撮影映像等」という。）の取扱いについては、次のとおりとするほか、各大会等の開催要項で定めるところに従うこと。

- 1 大会等の会場において、以下の条項に従って個人利用の目的でビデオ撮影等を行うことは差支えないが、営利目的又は不特定多数の者に公開若しくは頒布する目的で、これを行うことは禁止する。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。
- 2 大会等の会場におけるビデオ撮影等は、これを禁止されていない場所で、大会等の運営を妨げないような機材、方法によることとし、他人に迷惑を及ぼさないよう配慮すること。
- 3 大会等の会場における撮影映像等及びこれらのデータについては、有償、無償にかかわらずこれを不特定多数の者に頒布したり、又はインターネット上やその他の方法でこれを公開して拡散させたりしないこと。ただし、全剣連から許諾を得て行う場合はこの限りでない。

以上

## 全日本剣道選手権大会入賞者一覧

<b>第1回大会</b> (昭和28年11月8日、蔵前国技館) 優勝 榑原 正 (愛知、錬士、33) 第2位 阿部 三郎 (東京、教士、34) 第3位 鈴木 守治 (愛知、錬士、32) 第4位 植田 一 (香川、教士、40)	<b>第2回大会</b> (昭和29年10月10日、東京両国メモリアルホール) 優勝 小西雄一郎 (福岡、錬士、32) 第2位 中尾 巖 (兵庫、教士、38) 第3位 中倉 清 (鹿児島、教士、44) 第4位 阿部 三郎 (東京、教士、34)
<b>第3回大会</b> (昭和30年11月20日、東京両国国際スタジアム) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士、33) 第2位 植田 一 (香川、教士、42) 第3位 長島 末吉 (東京、教士、30) 第4位 田島 善人 (佐賀、教士、34)	<b>第4回大会</b> (昭和31年11月18日、東京体育館) 優勝 浅川 春男 (岐阜、教士、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士、34) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士、37) 第4位 嶽崎 操 (福岡、錬士、38)
<b>第5回大会</b> (昭和32年11月17日、東京体育館) 優勝 森田 信尊 (長崎、教士六段、39) 第2位 松尾 廉二 (広島、教士六段、41) 第3位 阿部 三郎 (東京、教士七段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、錬士六段、30)	<b>第6回大会</b> (昭和33年11月9日、東京体育館) 優勝 鈴木 守治 (愛知、教士六段、37) 第2位 中村 太郎 (神奈川、教士七段、36) 第3位 矢野 太郎 (兵庫、教士六段、35) 第4位 伊保 清次 (東京、教士六段、38)
<b>第7回大会</b> (昭和34年11月29日、東京体育館) 優勝 中村 太郎 (神奈川、教士七段、37) 第2位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、34) 第3位 津脇 良夫 (山口、教士六段、38) 第4位 園田 政治 (大阪、教士六段、32)	<b>第8回大会</b> (昭和35年11月27日、東京体育館) 優勝 桑原 哲明 (宮崎、五段、21) 第2位 浦本 徹誠 (大阪、教士七段、35) 第3位 大浦 芳彦 (福岡、教士七段、35) 第3位 蓮井 肇 (兵庫、教士七段、43)
<b>第9回大会</b> (昭和36年12月3日、東京体育館) 優勝 伊保 清次 (東京、教士七段、41) 第2位 小沼 宏至 (東京、教士七段、34) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、22) 第3位 谷口 安則 (福岡、教士七段、40)	<b>第10回大会</b> (昭和37年12月2日、東京体育館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、23) 第2位 片山 峯男 (熊本、教士七段、44) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士六段、31) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、23)
<b>第11回大会</b> (昭和38年12月1日、東京体育館) 優勝 矢野 太郎 (兵庫、教士七段、40) 第2位 戸田 忠男 (滋賀、五段、24) 第3位 穂山 嘉昭 (佐賀、五段、21) 第3位 小林 三留 (大阪、五段、26)	<b>第12回大会</b> (昭和39年11月29日、日本武道館) 優勝 戸田 忠男 (滋賀、五段、25) 第2位 西山 泰弘 (東京、錬士六段、28) 第3位 中村 毅 (東京、五段、23) 第3位 恵土 孝吉 (愛知、五段、25)
<b>第13回大会</b> (昭和40年12月5日、日本武道館) 優勝 西山 泰弘 (東京、錬士六段、29) 第2位 恵土 孝吉 (愛知、六段、26) 第3位 有馬 光男 (大阪、五段、22) 第3位 佐藤 博信 (東京、教士七段、34)	<b>第14回大会</b> (昭和41年12月4日、日本武道館) 優勝 千葉 仁 (東京、五段、22) 第2位 村瀬 隆平 (岐阜、五段、26) 第3位 田中 信義 (島根、七段、43) 第3位 西出 功 (京都、五段、26)
<b>第15回大会</b> (昭和42年12月3日、日本武道館) 優勝 堀田 国弘 (兵庫、教士七段、41) 第2位 千葉 仁 (東京、五段、23) 第3位 嶽下 武紀 (熊本、五段、22) 第3位 白藤 一郎 (大阪、五段、22)	<b>第16回大会</b> (昭和43年12月1日、日本武道館) 優勝 山崎 正平 (新潟、教士七段、45) 第2位 戸田 忠男 (東京、錬士五段、29) 第3位 野沢 治雄 (埼玉、錬士七段、30) 第3位 松葉 忠文 (岐阜、五段、25)

<b>第17回大会</b> （昭和44年12月7日、日本武道館） 優勝 千葉 仁（東京、錬士六段、25） 第2位 矢野 洋二（愛媛、五段、23） 第3位 有馬 光男（大阪、錬士六段、26） 第3位 藤田 長久（岡山、五段、25）	<b>第18回大会</b> （昭和45年12月6日、日本武道館） 優勝 中村 毅（東京、錬士六段、29） 第2位 千葉 仁（東京、錬士六段、26） 第3位 木村 謙竜（和歌山、五段、23） 第3位 佐藤 博信（東京、教士七段、39）
<b>第19回大会</b> （昭和46年12月5日、日本武道館） 優勝 川添 哲夫（東京、四段、21） 第2位 佐山 春夫（栃木、五段、23） 第3位 川井 光男（東京、錬士六段、26） 第3位 佐藤 博信（東京、教士七段、40）	<b>第20回大会</b> （昭和47年12月3日、日本武道館） 優勝 千葉 仁（東京、錬士六段、28） 第2位 川添 哲夫（東京、四段、22） 第3位 有馬 光男（大阪、錬士六段、29） 第3位 山田 博徳（熊本、五段、24）
<b>第21回大会</b> （昭和48年12月2日、日本武道館） 優勝 山田 博徳（熊本、錬士五段、25） 第2位 有馬 光男（大阪、錬士六段、30） 第3位 稲吉 正道（愛知、錬士五段、25） 第3位 川添 哲夫（高知、四段、23）	<b>第22回大会</b> （昭和49年12月8日、日本武道館） 優勝 横尾 英治（和歌山、五段、24） 第2位 稲吉 正道（愛知、錬士五段、26） 第3位 野崎 義昭（愛知、五段、26） 第3位 明石 和巳（岩手、五段、27）
<b>第23回大会</b> （昭和50年12月7日、日本武道館） 優勝 川添 哲夫（高知、五段、25） 第2位 宮澤 保信（宮城、四段、23） 第3位 明石 和巳（岩手、錬士五段、28） 第3位 横尾 英治（和歌山、五段、25）	<b>第24回大会</b> （昭和51年12月5日、日本武道館） 優勝 右田幸次郎（熊本、四段、23） 第2位 佐山 春夫（栃木、錬士六段、28） 第3位 横尾 英治（和歌山、五段、26） 第3位 川添 哲夫（高知、五段、26）
<b>第25回大会</b> （昭和52年12月11日、日本武道館） 優勝 小川 功（大阪、教士七段、34） 第2位 末野 栄二（鹿児島、錬士六段、28） 第3位 右田幸次郎（熊本、四段、24） 第3位 梯 正治（東京、錬士六段、30）	<b>第26回大会</b> （昭和53年12月10日、日本武道館） 優勝 石橋 正久（福岡、五段、27） 第2位 西川 清紀（東京、四段、23） 第3位 香田 郡秀（茨城、四段、21） 第3位 山田 博徳（熊本、錬士六段、30）
<b>第27回大会</b> （昭和54年12月9日、日本武道館） 優勝 末野 栄二（鹿児島、錬士六段、30） 第2位 古川 和男（北海道、五段、25） 第3位 山田 博徳（熊本、錬士七段、31） 第3位 川添 哲夫（高知、五段、29）	<b>第28回大会</b> （昭和55年12月7日、日本武道館） 優勝 外山 光利（宮崎、五段、26） 第2位 山田 博徳（熊本、教士七段、32） 第3位 西川 清紀（東京、五段、25） 第3位 渡辺 三則（高知、錬士六段、33）
<b>第29回大会</b> （昭和56年12月6日、日本武道館） 優勝 中田 琇士（東京、教士六段、34） 第2位 小坂 達明（大阪、錬士七段、33） 第3位 石塚 美文（大阪、錬士六段、30） 第3位 松田 勇人（奈良、五段、24）	<b>第30回大会</b> （昭和57年11月3日、日本武道館） 優勝 石田 健一（大阪、錬士六段、33） 第2位 小坂 達明（大阪、教士七段、34） 第3位 三宅 一（神奈川、錬士六段、32） 第3位 氏家 道男（東京、錬士六段、30）
<b>第31回大会</b> （昭和58年11月3日、日本武道館） 優勝 東 一良（愛知、錬士六段、33） 第2位 北村 浩二（熊本、錬士六段、31） 第3位 大久保和彦（神奈川、錬士六段、32） 第3位 福多 雅英（徳島、四段、24）	<b>第32回大会</b> （昭和59年11月3日、日本武道館） 優勝 原田 哲夫（京都、錬士六段、31） 第2位 加治屋速人（埼玉、錬士六段、30） 第3位 安田 水紀（埼玉、錬士六段、35） 第3位 下島貴代一（岐阜、錬士六段、30）

<b>第33回大会</b> (昭和60年11月3日、日本武道館) 優勝 石塚 美文 (大阪、錬士六段、34) 第2位 近藤 亘 (徳島、錬士六段、30) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、30) 第3位 北村 浩二 (熊本、錬士六段、33)	<b>第34回大会</b> (昭和61年11月3日、日本武道館) 優勝 岩堀 透 (大阪、教士七段、34) 第2位 亀井 徹 (熊本、錬士六段、32) 第3位 石塚 美文 (大阪、教士六段、35) 第3位 柏木 雄二 (鹿児島、錬士六段、33)
<b>第35回大会</b> (昭和62年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士六段、32) 第2位 東 一良 (愛知、教士六段、37) 第3位 大城戸 功 (愛媛、錬士六段、32) 第3位 加治屋速人 (埼玉、錬士六段、33)	<b>第36回大会</b> (昭和63年11月3日、日本武道館) 優勝 林 朗 (北海道、錬士六段、30) 第2位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、28) 第3位 西川 清紀 (東京、錬士六段、33) 第3位 福井 悦郎 (広島、錬士六段、33)
<b>第37回大会</b> (平成元年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、錬士七段、34) 第2位 伊藤 次男 (神奈川、錬士六段、32) 第3位 栗田和市郎 (東京、錬士六段、33) 第3位 大澤 規男 (埼玉、錬士六段、29)	<b>第38回大会</b> (平成2年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、六段、27) 第2位 白川 雅博 (東京、錬士六段、35) 第3位 進藤 正広 (秋田、錬士六段、33) 第3位 前原 正作 (鹿児島、錬士六段、36)
<b>第39回大会</b> (平成3年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、28) 第2位 栄花 英幸 (北海道、五段、27) 第3位 石田 利也 (大阪、錬士六段、30) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、29)	<b>第40回大会</b> (平成4年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、錬士六段、31) 第2位 石田 洋二 (大阪、五段、27) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、24) 第3位 高橋 英明 (京都、五段、27)
<b>第41回大会</b> (平成5年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士六段、30) 第2位 宮崎 史裕 (神奈川、六段、28) 第3位 出崎 忠幸 (東京、六段、30) 第3位 山中 洋介 (鳥取、錬士七段、33)	<b>第42回大会</b> (平成6年11月3日、日本武道館) 優勝 西川 清紀 (東京、教士七段、39) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、29) 第3位 田島 稔 (東京、錬士六段、32) 第3位 岡本 和明 (東京、五段、26)
<b>第43回大会</b> (平成7年11月3日、日本武道館) 優勝 石田 利也 (大阪、教士七段、34) 第2位 高橋 英明 (京都、錬士六段、30) 第3位 大澤 規男 (埼玉、教士七段、35) 第3位 寺地賢二郎 (東京、錬士六段、32)	<b>第44回大会</b> (平成8年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、錬士七段、33) 第2位 原田 悟 (東京、四段、23) 第3位 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、31) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、32)
<b>第45回大会</b> (平成9年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 史裕 (神奈川、錬士六段、32) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、34) 第3位 栄花 直輝 (北海道、六段、30) 第3位 栄花 英幸 (北海道、錬士六段、33)	<b>第46回大会</b> (平成10年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、35) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、32) 第3位 原田 悟 (東京、四段、25) 第3位 岩佐 英範 (東京、五段、28)
<b>第47回大会</b> (平成11年11月3日、日本武道館) 優勝 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、36) 第2位 江藤 善久 (大阪、錬士六段、33) 第3位 石原 一幸 (群馬、錬士六段、33) 第3位 佐藤 充伸 (宮城、五段、25)	<b>第48回大会</b> (平成12年11月3日、日本武道館) 優勝 栄花 直輝 (北海道、錬士六段、33) 第2位 宮崎 正裕 (神奈川、教士七段、37) 第3位 立花 義人 (福岡、四段、25) 第3位 原田 悟 (東京、五段、27)

<b>第49回大会</b> (平成13年11月3日、日本武道館) 優勝 岩佐 英範 (東京、錬士六段、31) 第2位 佐藤 充伸 (宮城、五段、27) 第3位 佐藤 博光 (大阪、五段、28) 第3位 倉成 健治 (愛知、教士七段、39)	<b>第50回大会</b> (平成14年11月2日・3日、日本武道館) 優勝 安藤 戒牛 (愛知、五段、29) 第2位 岩佐 英範 (東京、錬士六段、32) 第3位 小関 太郎 (東京、五段、26) 第3位 原田 悟 (東京、五段、29)
<b>第51回大会</b> (平成15年11月3日、日本武道館) 優勝 近本 巧 (愛知、錬士六段、32) 第2位 安藤 戒牛 (愛知、五段、30) 第3位 深谷 仁 (東京、錬士六段、33) 第3位 田崎 智春 (福島、五段、29)	<b>第52回大会</b> (平成16年11月3日、日本武道館) 優勝 鈴木 剛 (千葉、六段、32) 第2位 原田 悟 (東京、五段、31) 第3位 溝口 夏樹 (愛知、六段、31) 第3位 近本 巧 (愛知、錬士六段、33)
<b>第53回大会</b> (平成17年11月3日、日本武道館) 優勝 原田 悟 (東京、六段、32) 第2位 内村 良一 (東京、四段、25) 第3位 北条 将臣 (神奈川、六段、31) 第3位 上園 修 (鹿児島、錬士六段、34)	<b>第54回大会</b> (平成18年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、26) 第2位 古澤 庸臣 (熊本、五段、28) 第3位 外山 浩規 (愛知、錬士六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、五段、30)
<b>第55回大会</b> (平成19年11月3日、日本武道館) 優勝 寺本 将司 (大阪、六段、32) 第2位 高鍋 進 (神奈川、六段、31) 第3位 佐藤 博光 (大阪、錬士六段、34) 第3位 木和田大起 (大阪、五段、29)	<b>第56回大会</b> (平成20年11月3日、日本武道館) 優勝 正代 賢司 (神奈川、五段、27) 第2位 若生 大輔 (北海道、六段、31) 第3位 有場 賢輔 (広島、五段、28) 第3位 米屋 勇一 (埼玉、六段、32)
<b>第57回大会</b> (平成21年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、五段、29) 第2位 高橋 秀人 (東京、五段、29) 第3位 寺本 将司 (大阪、錬士六段、34) 第3位 高坂 雄介 (静岡、四段、29)	<b>第58回大会</b> (平成22年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、五段、30) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、23) 第3位 古川 耕輔 (大阪、六段、31)
<b>第59回大会</b> (平成23年11月3日、日本武道館) 優勝 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、35) 第2位 東永 幸浩 (埼玉、錬士六段、34) 第3位 岩下 智久 (千葉、錬士六段、33) 第3位 内村 良一 (東京、六段、31)	<b>第60回大会</b> (平成24年11月3日、日本武道館) 優勝 木和田大起 (大阪、錬士六段、34) 第2位 内村 良一 (東京、錬士六段、32) 第3位 網代 忠勝 (兵庫、六段、32) 第3位 高鍋 進 (神奈川、錬士六段、36)
<b>第61回大会</b> (平成25年11月3日、日本武道館) 優勝 内村 良一 (東京、錬士六段、33) 第2位 小谷 明德 (千葉、五段、29) 第3位 正代 正博 (東京、五段、29) 第3位 安藤 翔 (北海道、四段、23)	<b>第62回大会</b> (平成26年11月3日、日本武道館) 優勝 竹ノ内佑也 (福岡、四段、21) 第2位 國友錬太郎 (福岡、四段、24) 第3位 西村 英久 (熊本、五段、25) 第3位 畠中 宏輔 (東京、五段、27)
<b>第63回大会</b> (平成27年11月3日、日本武道館) 優勝 西村 英久 (熊本、五段、26) 第2位 勝見 洋介 (神奈川、五段、29) 第3位 梅ヶ谷 翔 (福岡、三段、20) 第3位 竹下 洋平 (大分、五段、27)	<b>第64回大会</b> (平成28年11月3日、日本武道館) 優勝 勝見 洋介 (神奈川、五段、30) 第2位 國友錬太郎 (福岡、五段、26) 第3位 地白 允大 (北海道、五段、29) 第3位 宮本 敬太 (茨城、四段、21)

<b>第65回大会</b> （平成29年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、五段、28） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、37） 第3位 林田 匡平（福井、四段、23） 第3位 畠中 宏輔（東京、錬士六段、30）	<b>第66回大会</b> （平成30年11月3日、日本武道館） 優勝 西村 英久（熊本、六段、29） 第2位 内村 良一（東京、錬士七段、38） 第3位 安藤 翔（北海道、五段、28） 第3位 竹下 洋平（大分、五段、30）
<b>第67回大会</b> （令和元年11月3日、丸善インテックアリーナ大阪） 優勝 國友錬太郎（福岡、五段、29） 第2位 松崎賢士郎（茨城、四段、21） 第3位 前田 康喜（大阪、五段、26） 第3位 竹下 洋平（大分、六段、31）	<b>第68回大会</b> （令和3年3月14日、ホワイトリング） 優勝 第2位 第3位 第3位

メ      モ

## 全日本女子剣道選手権大会入賞者一覧

<b>第1回大会</b> (昭和37年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝・柳沼 節子 (東京、五段、24) 第2位・中村 圭江 (東京、三段、19) 第3位・越田 浩子 (静岡、四段、21) 第3位・川口 一江 (愛知、三段、27)	<b>第2回大会</b> (昭和38年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝・柳沼 節子 (東京、五段、25) 第2位・越田 浩子 (静岡、四段、22) 第3位・中村 圭江 (東京、三段、20) 第3位・高野 洋子 (神奈川、二段、20)
<b>第3回大会</b> (昭和39年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 松尾 和恵 (広島、二段、17) 第2位 井上千代子 (北海道、四段、38) 第3位 越田 浩子 (静岡、五段、23) 第3位 永吉ミヨコ (奈良、初段、17)	<b>第4回大会</b> (昭和40年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 松尾 和恵 (東京、三段、18) 第2位 田淵 和江 (岡山、二段、18) 第3位 佐藤 征代 (兵庫、二段、25) 第3位 井上千代子 (北海道、五段、39)
<b>第5回大会</b> (昭和41年5月3日、神戸市中央体育館) 優勝 田淵 和江 (岡山、二段、19) 第2位 船越 弘美 (大分、三段、24) 第3位 高野 文江 (神奈川、二段、17) 第3位 松尾 和恵 (東京、三段、19)	<b>第6回大会</b> (昭和42年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 松尾 和恵 (東京、四段、20) 第2位 石本 妙子 (福井、二段、18) 第3位 木村 慶子 (新潟、二段、16) 第3位 佐藤 征代 (兵庫、三段、27)
<b>第7回大会</b> (昭和43年5月3日、神戸市中央体育館) 優勝 田淵 和江 (岡山、三段、21) 第2位 中矢 美保 (愛媛、三段、19) 第3位 高野 文江 (神奈川、二段、19) 第3位 高橋 節子 (福島、三段、20)	<b>第8回大会</b> (昭和44年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 桑原 永子 (熊本、二段、18) 第2位 高木 松枝 (静岡、三段、21) 第3位 古場美智子 (長崎、三段、21) 第3位 坂下 恵子 (鹿児島、三段、22)
<b>第9回大会</b> (昭和45年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 桑原 永子 (東京、三段、19) 第2位 羽賀 幸子 (茨城、三段、18) 第3位 田淵 和江 (岡山、四段、23) 第3位 須藤 文子 (福岡、二段、18)	<b>第10回大会</b> (昭和46年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 桑原 永子 (熊本、三段、20) 第2位 佐竹 千代 (高知、三段、20) 第3位 池田 百代 (岐阜、初段、16) 第3位 工藤十四子 (青森、三段、19)
<b>第11回大会</b> (昭和47年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 高橋 政子 (東京、三段、19) 第2位 久米村加代子 (鹿児島、二段、17) 第3位 吉峰美智子 (熊本、三段、19) 第3位 小松 律子 (秋田、二段、17)	<b>第12回大会</b> (昭和48年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 黒須 厚子 (栃木、三段、18) 第2位 久米村加代子 (大阪、二段、18) 第3位 平川 潤子 (京都、二段、16) 第3位 満石 輝代 (岐阜、二段、16)
<b>第13回大会</b> (昭和49年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 黒須 厚子 (栃木、三段、19) 第2位 浜田ひで子 (三重、二段、19) 第3位 尼田 美保 (山口、二段、17) 第3位 平川 潤子 (京都、二段、17)	<b>第14回大会</b> (昭和50年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 田中由美子 (大阪、三段、19) 第2位 吉峰美智子 (熊本、四段、22) 第3位 吉野都起子 (神奈川、四段、24) 第3位 根本 道世 (大阪、三段、20)
<b>第15回大会</b> (昭和51年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 黒須 厚子 (東京、三段、21) 第2位 武居ひろみ (山口、二段、18) 第3位 土屋 明美 (山形、二段、17) 第3位 渡辺みどり (徳島、三段、19)	<b>第16回大会</b> (昭和52年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 根本 道世 (大阪、四段、22) 第2位 堀部あけみ (茨城、四段、20) 第3位 前田シン子 (群馬、五段、28) 第3位 足立 善子 (滋賀、三段、20)

<b>第17回大会</b> (昭和53年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 根本 道世 (大阪、四段、23) 第2位 堀部あけみ (茨城、四段、21) 第3位 小松 律子 (神奈川、四段、23) 第3位 中川 真紀 (兵庫、三段、21)	<b>第18回大会</b> (昭和54年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 小松 律子 (神奈川、四段、24) 第2位 長谷川美奈子 (新潟、二段、17) 第3位 矢野かなえ (東京、三段、20) 第3位 裏鍛 領湖 (北海道、三段、19)
<b>第19回大会</b> (昭和55年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 矢野かなえ (東京、四段、21) 第2位 二ツ森礼子 (青森、三段、21) 第3位 藤田 弘美 (福岡、二段、17) 第3位 森田 瑞恵 (福岡、二段、20)	<b>第20回大会</b> (昭和56年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 森田 瑞恵 (福岡、三段、21) 第2位 川添 永子 (高知、五段、30) 第3位 光浦 清美 (山口、三段、19) 第3位 二ツ森礼子 (青森、四段、22)
<b>第21回大会</b> (昭和57年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 福之上里美 (鹿児島、二段、17) 第2位 大村 金子 (東京、四段、22) 第3位 上浦かなえ (東京、四段、23) 第3位 道園 郁代 (熊本、三段、20)	<b>第22回大会</b> (昭和58年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 森田 瑞恵 (東京、三段、23) 第2位 川添 永子 (高知、五段、32) 第3位 都村 祐子 (香川、四段、20) 第3位 福之上里美 (東京、三段、18)
<b>第23回大会</b> (昭和59年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 福之上里美 (東京、三段、19) 第2位 森田 瑞恵 (東京、三段、24) 第3位 河野 聡子 (大分、三段、20) 第3位 栗田 幸枝 (埼玉、二段、16)	<b>第24回大会</b> (昭和60年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 三谷 菜智 (愛知、三段、20) 第2位 藤田 弘美 (茨城、四段、22) 第3位 平山 理恵 (熊本、二段、16) 第3位 花野 優子 (和歌山、二段、17)
<b>第25回大会</b> (昭和61年5月3日、大阪市中央体育館) 優勝 佐竹みゆき (熊本、三段、18) 第2位 大堀真奈美 (鹿児島、三段、19) 第3位 福之上里美 (東京、四段、21) 第3位 柴田幸喜恵 (愛知、三段、21)	<b>第26回大会</b> (昭和62年5月31日、守口市民体育館) 優勝 川俣真由美 (大阪、二段、17) 第2位 山崎 圭子 (千葉、三段、20) 第3位 福之上里美 (東京、四段、23) 第3位 栗田 幸枝 (埼玉、三段、19)
<b>第27回大会</b> (昭和63年5月2日、大阪市中央体育館) 優勝 溝口 貴子 (宮崎、四段、20) 第2位 福之上真理子 (大阪、四段、20) 第3位 栗田 幸枝 (埼玉、三段、20) 第3位 岩瀬 留美 (愛知、三段、21)	<b>第28回大会</b> (平成元年5月4日、大阪市中央体育館) 優勝 倉地富美恵 (東京、三段、21) 第2位 本多妃佐子 (長崎、初段、17) 第3位 北里 弥生 (熊本、三段、20) 第3位 堤 利恵 (大分、四段、20)
<b>第29回大会</b> (平成2年9月9日、守口市民体育館) 優勝 近藤 洋子 (東京、四段、23) 第2位 川畑 百重 (大阪、二段、18) 第3位 倉地富美恵 (東京、四段、22) 第3位 牛木さつ子 (東京、五段、28)	<b>第30回大会</b> (平成3年9月8日、守口市民体育館) 優勝 西 晴乃 (鹿児島、三段、19) 第2位 谷山百合香 (鹿児島、三段、19) 第3位 福之上真理子 (大阪、四段、23) 第3位 大村 恵理 (岡山、三段、17)
<b>第31回大会</b> (平成4年9月13日、守口市民体育館) 優勝 鍋山 玲子 (福岡、二段、17) 第2位 谷山百合香 (鹿児島、三段、20) 第3位 山本 恵美 (東京、三段、21) 第3位 石井 真弓 (埼玉、二段、18)	<b>第32回大会</b> (平成5年9月12日、守口市民体育館) 優勝 石田真理子 (大阪、五段、25) 第2位 川俣真由美 (神奈川、四段、23) 第3位 國村 裕子 (香川、四段、21) 第3位 鍋山 玲子 (福岡、三段、18)

<b>第33回大会</b> (平成6年9月11日、守口市民体育館) 優勝 石田真理子 (大阪、五段、26) 第2位 西 晴乃 (鹿児島、四段、22) 第3位 高田 智子 (大阪、四段、22) 第3位 村山 千夏 (新潟、三段、20)	<b>第34回大会</b> (平成7年9月10日、愛知県武道館) 優勝 川畑 百重 (東京、四段、23) 第2位 有馬 佳代 (鹿児島、三段、20) 第3位 高松 明美 (東京、三段、22) 第3位 東森 環 (岡山、四段、23)
<b>第35回大会</b> (平成8年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 甲斐 敦子 (大阪、三段、19) 第2位 川畑 百重 (東京、四段、24) 第3位 大塚真由美 (大阪、四段、24) 第3位 柿原 未砂 (和歌山、三段、20)	<b>第36回大会</b> (平成9年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 大塚真由美 (神奈川、五段、28) 第2位 村山 千夏 (新潟、三段、23) 第3位 木村 美姫 (奈良、四段、25) 第3位 根本麻弥子 (千葉、五段、26)
<b>第37回大会</b> (平成10年9月13日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 大塚真由美 (神奈川、五段、29) 第2位 河野 朋子 (福岡、三段、21) 第3位 永尾 恒美 (大阪、四段、24) 第3位 福田美佐子 (長崎、四段、24)	<b>第38回大会</b> (平成11年9月12日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 朝比奈静香 (東京、四段、24) 第2位 有馬 佳代 (鹿児島、四段、24) 第3位 谷山百合香 (京都、五段、28) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、三段、19)
<b>第39回大会</b> (平成12年9月3日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 朝比奈静香 (東京、四段、25) 第2位 永尾 恒美 (大阪、五段、26) 第3位 馬場 恵子 (大阪、四段、22) 第3位 田中百合香 (京都、五段、29)	<b>第40回大会</b> (平成13年9月2日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 堀口 恭子 (山梨、四段、24) 第2位 有馬 佳代 (鹿児島、四段、26) 第3位 黒岩 直美 (福岡、五段、28) 第3位 福田美佐子 (長崎、四段、27)
<b>第41回大会</b> (平成14年9月1日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 坪田 祐佳 (岡山、四段、22) 第2位 有島 佳代 (鹿児島、五段、27) 第3位 岡田 圭 (熊本、三段、22) 第3位 萩原 寿里 (大阪、四段、23)	<b>第42回大会</b> (平成15年9月7日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 緒方 有希 (熊本、四段、24) 第2位 朝比奈静香 (東京、五段、28) 第3位 興梠 舞 (茨城、三段、22) 第3位 田中百合香 (京都、六段、32)
<b>第43回大会</b> (平成16年9月5日、名古屋市中村スポーツセンター) 優勝 岡田 圭 (熊本、四段、24) 第2位 新里知佳野 (沖縄、四段、22) 第3位 島村 百重 (東京、五段、32) 第3位 久木山満美 (東京、五段、28)	<b>第44回大会</b> (平成17年9月4日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、五段、31) 第2位 緒方 有希 (熊本、五段、26) 第3位 宮川瑠璃子 (茨城、三段、21) 第3位 恩田 望 (静岡、三段、19)
<b>第45回大会</b> (平成18年9月3日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、五段、32) 第2位 緒方 有希 (熊本、五段、27) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、五段、26) 第3位 内田さくら (静岡、五段、28)	<b>第46回大会</b> (平成19年9月2日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、六段、33) 第2位 内田さくら (静岡、五段、29) 第3位 鈴木 愛梨 (山形、三段、20) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、五段、27)
<b>第47回大会</b> (平成20年9月7日、静岡県武道館) 優勝 坪田 祐佳 (岡山、五段、28) 第2位 村山 千夏 (埼玉、六段、34) 第3位 福田美佐子 (長崎、錬士六段、34) 第3位 片渕 美和 (大阪、四段、23)	<b>第48回大会</b> (平成21年9月27日、静岡県武道館) 優勝 村山 千夏 (埼玉、錬士六段、35) 第2位 庄島 幸恵 (東京、錬士六段、33) 第3位 新里知佳野 (新潟、五段、27) 第3位 坪田 祐佳 (岡山、五段、29)

<b>第49回大会</b> (平成22年9月26日、静岡県武道館) 優 勝 石突小百合 (東京、五段、25) 第2位 鷹見由紀子 (千葉、四段、25) 第3位 山下久美子 (東京、五段、27) 第3位 川越 愛 (兵庫、四段、24)	<b>第50回大会</b> (平成23年9月25日、兵庫県立武道館) 優 勝 村山 千夏 (埼玉、錬士六段、37) 第2位 正代小百合 (東京、五段、26) 第3位 黒河 香菜 (広島、四段、24) 第3位 荒井 貴子 (埼玉、五段、28)
<b>第51回大会</b> (平成24年9月2日、兵庫県立武道館) 優 勝 山本真理子 (大阪、四段、24) 第2位 内田 舞 (熊本、三段、31) 第3位 山口 美紀 (神奈川、四段、22) 第3位 宮川瑠璃子 (山口、五段、28)	<b>第52回大会</b> (平成25年9月8日、兵庫県立武道館) 優 勝 山本真理子 (大阪、五段、25) 第2位 竹村奈緒美 (岐阜、四段、24) 第3位 小津野祐佳 (岡山、錬士六段、33) 第3位 石塚 芳 (大阪、四段、25)
<b>第53回大会</b> (平成26年9月7日、兵庫県立武道館) 優 勝 田山 秋恵 (大阪、五段、25) 第2位 松本 弥月 (福岡、四段、22) 第3位 梅村 友絵 (東京、五段、28) 第3位 山本真理子 (大阪、五段、26)	<b>第54回大会</b> (平成27年9月13日、兵庫県立武道館) 優 勝 松本 弥月 (神奈川、四段、23) 第2位 田山 秋恵 (大阪、五段、26) 第3位 山本真理子 (大阪、五段、27) 第3位 鷹見由紀子 (千葉、五段、30)
<b>第55回大会</b> (平成28年9月11日、ホワイトリング) 優 勝 正代小百合 (東京、六段、31) 第2位 大西ななみ (福岡、四段、21) 第3位 山本真理子 (大阪、五段、28) 第3位 松本 弥月 (神奈川、四段、24)	<b>第56回大会</b> (平成29年9月24日、ホワイトリング) 優 勝 高橋 萌子 (神奈川、四段、24) 第2位 興梠 舞 (宮崎、四段、36) 第3位 山本真理子 (大阪、五段、29) 第3位 渡邊 タイ (熊本、四段、25)
<b>第57回大会</b> (平成30年9月23日、ホワイトリング) 優 勝 高橋 萌子 (神奈川、四段、25) 第2位 佐藤みのり (福島、四段、21) 第3位 松本 智香 (福岡、四段、22) 第3位 大西ななみ (福井、四段、23)	<b>第58回大会</b> (令和元年9月8日、ホワイトリング) 優 勝 松本 弥月 (神奈川、五段、27) 第2位 山本真理子 (大阪、六段、31) 第3位 渡邊 タイ (熊本、五段、27) 第3位 竹中 美帆 (茨城、四段、22)
<b>第59回大会</b> (令和3年3月14日、ホワイトリング) 優 勝 第2位 第3位 第3位	

メ      モ

# 全日本剣道連盟ならびに地方代表団体一覧

(会長名・事務局所在地・電話番号・FAX番号)

令和2年12月2日現在

全日本剣道連盟	北の丸事務所	〒102-0091	東京都千代田区北の丸公園2-3	日本武道館内	03(3211)5804・F(3211)5807
会長 張 富士夫	九段事務所	〒102-0074	東京都千代田区九段南2-3-14	靖国九段南ビル2階	03(3234)6271・F(3234)6007

地方代表団体	会長	〒	事務局所在地		電話・FAX
(一財)北海道剣道連盟	藤井 稔	062-0905	札幌市豊平区豊平5条11-1-1	北海道立総合体育センター内	011(820)1662・1663・F(820)1662・1663
青森県	増田 知幸	030-0903	青森市栄町1-7-8		017(764)0340・F(764)0340
秋田県	目黒 大作	010-0914	秋田市保戸野千代田町14-12	SAKAEビル2F B室	018(883)0680・F(883)0663
山形県	板垣 隆	990-0025	山形市あこや町3-1-28		023(625)4825・F(625)4826
岩手県	小笠原宏志	020-0122	盛岡市みたけ3-38-20	(一財)岩手県青少年会館内	019(645)2220・F(645)2220
(一財)宮城県	井上 雅勝	982-0845	仙台市太白区門前町2-1		022(746)8461・F(746)8462
福島県	吉崎 勝	960-0102	福島市鎌田字町23	サラダハウスA101号	024(597)8218・F(597)8218
(一財)茨城県	小倉 培夫	310-0903	水戸市堀町1161-13		029(251)8811・F(255)6228
栃木県	白石 正範	320-0066	宇都宮市駒生1-1-6	栃木県教育会館2階	028(624)4567・F(627)4001
群馬県	武藤 成孝	371-0033	前橋市国領町1-10-15	小林一隆方	027(288)7767・F(288)7765
(公財)埼玉県	山中 茂樹	330-0074	さいたま市浦和区北浦和5-6-5	浦和合同庁舎4階	048(834)8869・F(834)8879
(一財)東京都	千葉 胤道	105-0004	港区新橋4-24-2		03(5405)2166・F(5405)3680
(一財)千葉県	川畑 富保	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-3-20		043(285)4331・F(285)4333
神奈川県	小林 英雄	221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-17-1	相鉄・岩崎学園ビル307号	045(321)6175・F(321)6176
山梨県	渡邊 宏一	409-3804	中央市井之口150-2		055(278)6162・F(278)6163
(一財)新潟県	浅原 行雄	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-1-21	北陽ビル2階	025(384)4784・F(384)4794
(一財)石川県	南 信廣	920-0811	金沢市小坂町西57-3	KSハイツ205号	076(253)0310・F(253)0341
(一財)富山県	牧田 稔	939-8081	富山市堀川小泉町841-4	プライムステージ堀川106	076(492)4040・F(423)6087
(一財)福井県	片山 外一	910-0015	福井市二の宮2-24-18	サンライズ二の宮1-B	0776(28)6616・F(28)6616
(一財)長野県	加瀬 浩明	380-0844	長野市諏訪町503		026(237)8939・F(235)8266
(一社)静岡県	吉村 勝	420-0822	静岡市葵区宮前町355		054(263)5428・F(263)8367
(一財)愛知県	大嶽 將文	453-0035	名古屋市中村区十王町11-22		052(481)0093・F(481)0095
岐阜県	堤 俊彦	500-8384	岐阜市藪田南1-11-12	岐阜県水産会館611	058(274)1521・F(274)8949
三重県	岡田 一義	514-0007	津市大谷町152	大谷ハイム1-202号	059(226)5975・F(229)7407
(一財)滋賀県	中野 正堂	524-0022	守山市守山4-7-20	辻田ビル2階	077(514)3165・F(514)3178
(一財)京都府	伊吹 文明	606-8392	京都市左京区聖護院山王町19		075(761)8288・F(761)8287
(公社)大阪府	長榮 周作	530-0044	大阪市北区東天満2-8-1	若杉センタービル別館502号	06(6351)3345・F(6351)3346
(一財)奈良県	吉田 克法	630-8115	奈良市大宮町5-3-14	不動ビル505号	0742(32)5008・F(32)5011
和歌山県	世耕 弘成	640-8329	和歌山市田中町5-4-2		073(432)7760・F(432)7759
(一財)兵庫県	河野修一郎	657-0838	神戸市灘区王子町1-2-8	虹ヶ池ハイツ201号	078(861)5145・F(802)5240
(一財)岡山県	山本晋一郎	700-0826	岡山市北区磨屋町1-1		086(235)3255・F(235)3245
(一財)広島県	林 正夫	730-0014	広島市中区上幟町1-5		082(962)3076・F(962)3087
(一財)山口県	茨木 貴	753-0083	山口市後河原237-1	警察体育館別館内	083(932)5072・F(932)5073
鳥取県	岸田 芋	680-0036	鳥取市川端3-216	瀧本ビル3階	0857(29)2668・F(29)2668
島根県	大西 和幸	690-0883	島根県松江市北田町47-1	鬼村純方	0852(27)6222・F(27)6222
香川県	木内 光良	760-0033	高松市丸の内4-6	アラキビル2階南	087(880)4463・F(880)4467
愛媛県	俊野 徹人	790-0952	松山市朝生田町5-3-28	福泉ビル205号	089(941)9394・F(941)3013
高知県	渡邊 三則	780-0026	高知市秦南町1-5-12	恒石章彦方	088(871)5184・F(871)5184
徳島県	三木 毅	770-0861	徳島市住吉3-9-6	栗本マンション106号	088(652)2337・F(652)2360
(公社)福岡県	青柳 俊彦	810-0052	福岡市中央区大濠1-1-1	福岡武道館内	092(712)1890・F(712)1891
佐賀県	井上正一郎	849-0923	佐賀市日の出2-1-11	佐賀県スポーツ会館	0952(33)7184・F(20)9888
(一財)長崎県	松尾 博行	850-0036	長崎市五島町5-34	トーカンマンション1-E	095(826)5220・F(826)5220
(一財)大分県	安部 正定	870-0820	大分市西大道1-1-76	第2ハルキコーポ101号	097(547)9980・F(547)9981
熊本県		862-0950	熊本市中央区水前寺5-23-2	熊本武道館内	096(381)8998・F(381)8998
宮崎県		880-2102	宮崎市大字有田371-4		0985(62)3890・F(62)3893
鹿児島県	俣木 正喜	890-0062	鹿児島市与次郎1-4-20	県立武道館内	099(255)8778・F(255)8778
(一財)沖縄県	石原 昌弘	900-0026	那覇市奥武山町51-2	沖縄県体協スポーツ会館501号	098(859)0410・F(996)4616

## 全剣連発行の頒布物一覧

令和3年3月現在

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道試合・審判規則	¥400	66	3
剣道試合・審判・運営要領の手引き	¥200	43	2
FIK剣道試合・審判規則 (和英版)	¥1,000	140	5
居合道試合・審判規則	¥400	55	3
杖道試合・審判規則	¥450	58	3
称号・段級位審査規則	¥400	81	3
日本剣道形解説書	¥200	93	2
日本剣道形解説書 (英語版)	¥900	240	5
居合解説	¥250	74	3
居合解説 (英語版)	¥500	79	3
杖道解説	¥500	186	7
杖道解説 (英語版)	¥900	183	7
剣道指導要領	¥2,900	554	7
剣道指導要領 (英語版)	¥3,400	858	11
剣道指導の手引き【二刀編】	¥1,000	144	2
全剣連五十年史	¥3,100	1073	30
全剣連と剣道界 この十年の歩み	¥2,000	917	23
剣道和英辞典 (第3版)	¥2,100	283	14
剣道社会体育教本 (改訂版)	¥2,100	664	13
剣道医学Q&A (第3版)	¥2,100	785	15
剣道医学救急ハンドブック (第3版)	¥500	97	4
剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル(第二刷)	¥300	90	3
剣道講習会資料	¥500	310	8
木刀による剣道基本技稽古法	¥500	175	2
木刀による剣道基本技稽古法 (英語版)	¥700	173	2
剣道用具の保守・管理 (英語版)	¥400	69	3
居合道における日本刀及び模擬刀の取扱要領	¥400	106	2

頒布物名	価格	重量(g)	厚さ(mm)
剣道学科審査の問題例と解答例(初段～五段)	¥500	175	3
剣道授業の展開 (DVD付き)	¥1,000	346	7
絵図と写真に見る剣道文化史	¥2,500	627	11
全剣連社会体育指導員養成講習会20周年記念誌	¥1,500	642	13
木刀による剣道基本技稽古法DVD	¥3,600	92	15
居合DVD (英語版)	¥3,100	93	15
竹刀一剣道の発展を支えた竹刀の歩み—DVD	¥3,100	100	15
剣道人バッジ小ネジ	¥1,200	13	16
剣道人バッジ小タック	¥1,200	13	16
剣道人バッジ大ネジ	¥1,600	15	16
剣道人バッジ大タック	¥1,600	14	16
タイピン (真鍮バー)	¥2,000	24	25
カフス・タイピン (真鍮バー)	¥6,100	66	30
FIKバッジ (ネジ・タック)	各¥1,100	19	18
男子審判用ネクタイ	¥2,000	58	16
女子審判用ネクタイ	¥1,500	52	9
竹刀検査用基準器 ゲージ1 (先革先端部最小直径計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 ゲージ2 (ちくとう対角計測用)	¥4,600	55	3
竹刀検査用基準器 検査台(ちくとう対角計測用)	¥9,800	510	25
竹刀検査用基準器セット	¥18,000	620	28
ぶしし手ぬぐい (白・紺・黄)	各¥500	38	4
ぶししクリアファイル (5枚セット)	¥500	127	2
ぶししステッカーシート	¥200	8	1
ぶししTシャツ 青・エンジ (S、M、L、LL)	各¥2,500	170	20
ぶししアイロンワッペン	¥700	1	3
ぶししラバーキーホルダー	¥600	19	5
ぶししぬいぐるみ	¥4,000	256	210

\* 品物はすべて消費税込みとなります。  
\* 全日本剣道連盟の頒布物販売は、心力舎企画(株)に委託しております。

### 『購入申し込み方法』

(1)インターネットからのお申し込み…<https://zenkenren-shop.com>

(2)FAXでのお申し込み……心力舎企画株式会社 03-3451-6905 へFAXして下さい。

①品物名、②数量、③支払い方法、④発送方法、⑤氏名、⑥住所、⑦電話番号、⑧FAX番号をご記入下さい。

お支払い金額 (品物代金+送料) を記入したご注文確認のFAXを返信いたしますので、お支払い手続きをお願いいたします。

◎お支払い方法 (②以外の手数料はお客様ご負担でお願いいたします。)

①代金引換、②クレジットカード決済、③銀行振込、④郵便振替

◎発送方法・送料 (送料は、ご注文の際にお知らせいたします。)

①宅配便……送料はお申し込み品物の重量・お届け地域によって異なります。また、離島・一部地域は、別途中継手数料が発生します。

②メール便…… (この場合、代金引換はご利用いただけません。)

全国一律、500円で、A4サイズ (厚さ20mmまで) の品物の配送に利用いただけます。

\* オンラインショップのホームページをご利用いただくと品物の合計代金と送料が自動計算されます。





心 技 体 MONTHLY MAGAZINE THE "BUDO" 人を育てる総合誌

月刊

# 武道

毎月28日発行  
定価505円+税



教育・健康・教養を三本柱に、役に立つ「武道人間学」の情報を満載!

好評連載中

## 私の稽古法

各道の現役選手を中心に、自身の経験に基づいた稽古法、大会の心構え等を紹介する。10月号：林田匡平氏執筆。

## 中学校武道の充実に向けて — つまずきをどう克服したか

## 武道を思索する

東京大学教授 大石和欣

今月のニュース



第68回全日本剣道選手権大会は5月号に掲載予定! (写真は2019年のももの)

各種武道大会の模様をニュースとしてお伝えします。剣道大会の記事も年間を通じて豊富に掲載!

## 写真と記事でたどる 武道の近代史

杉江正敏 著

B5判・182頁・本体1,000円+税



月刊『武道』1999年1月号から2001年3月号までの27回連載をまとめた杉江正敏先生のライフワーク

明治以降出版された諸雑誌の記述から、武道を取り巻く日本文化や、体育・スポーツ全般にわたる内容を掲載した記事を紹介する形で、武道がどのように近代化へと歩みを進めてきたかを明らかにするための基礎資料集。

日本武道館発行の単行本



## 役に立つ少年剣道指導法

香川大学教授、医学博士、剣道教士八段 山神 眞一 著  
現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。  
A5判・並製・256頁・DVD付・本体2400円+税



## 高め合う剣道

筑波大学名誉教授 佐藤 成明 著  
教育剣道の実践者として長年の経験をもつ筆者が、古今の文献を手掛かりに日々の修練で大事な事柄を綴る。  
四六判・上製・564頁・本体2400円+税



## 剣の清流

剣道範士九段 堀籠 敬藏 著  
「古人の跡を求めずして、その求めたところを求めよ」。著者生涯にわたる剣道修練を集大成した本格的剣道修行論。  
四六判・上製・344頁・本体2400円+税



## 剣の道 人の道

元全国高体連剣道部長 岡村 忠典 著  
多くの師に善導され、剣道人・教育者として歩んだ著者の半生記。戦後剣道史としても読める良書。  
四六判・上製・350頁・本体2400円+税



## 禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授 佐藤 錬太郎 著  
禅の思想と剣術がどう関わってきたか、武道伝書を基に検証し、剣術が剣道へと発展昇華していく過程をわかりやすく解説。  
四六判・上製・386頁・本体2400円+税



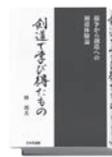
## 刀剣の歴史と思想

筑波大学体育系教授 酒井 利信 著  
日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、確かな史料を基に考察。そのオリジナリティを浮かび上がらせる。  
四六判・上製・346頁・本体2400円+税



## 人を育てる剣道

剣道範士八段 角 正武 著  
剣道の真価は、気力を練り上げ、肚をつくる修行にある。人間の土台をつくる剣道を目指す著者渾身の剣道指導論。  
四六判・上製・268頁・本体2400円+税



## 剣道で学び得たもの

中京大学名誉教授 林 邦夫 著  
競争から創造への剣道体験論。競技の剣道から自己実現の剣道へ。剣道を通して、学び得た経験をありのままに綴った意欲作。  
四六判・上製・298頁・本体2400円+税



編集・発行 公益財団法人日本武道館  
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3  
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は  
日本武道館出版広報課  
までどうぞ!

TEL03(3216)5147  
FAX03(3216)5158

南房総かつうら NIPPON BUDOKAN TRAINING CENTER

# 日本武道館研修センター

耐震補強工事平成13年実施

当センターは公益財団法人日本武道館の運営です。  
安価な料金で、良質なサービスをご提供いたしております。  
武道を修練する人たちの道場施設をはじめ、広く一般の皆様にもご利用いただける施設です。柔・剣道などの武道大会や合宿はもちろん、文化系サークル合宿、社員研修や講習会、中学・高校の課外活動、各種セミナーや会議・会合、グループや家族旅行などのご宿泊にも最適です。  
また、ご予算に応じて、特別料理(舟盛り・寿司盛り)も承っております。  
皆様のご利用を心よりお待ちしております。



大道場…1000畳の広さ(分割使用可)冷暖房完備



弓道場…9人立ち、男女更衣室、冷暖房、男女トイレ完備



第1研修室…武道の稽古にも使用可



相撲道場…シャワー・トイレ完備



宿泊室A(和室・定員5人)10部屋



宿泊室B(洋室・定員7人)30部屋



ロビー



食堂 ビュッフェ形式で食べ放題! (夕食同一料金で屋外バーベキューに変更可)



## 宿泊料金

### ●武道を目的とした宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,040円	6,490円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,710円	6,270円

※表示料金は税込

### ●武道目的以外の宿泊(1泊夕食・朝食付き)

区分	宿泊室A	宿泊室B
大人	7,370円	6,930円
小・中学生 <small>幼児無料</small>	6,820円	6,600円

・幼児の室料は無料です。・昼食料金…990円  
・食事はビュッフェ形式。  
・宿泊利用での施設使用料は無料です。ただし、宿泊を伴わない場合は、別途使用料金を頂きます。

武道の合宿をはじめ、文化系(書道等)、スポーツの合宿、研修講習会、その他会議、パーティー(式典等)、サークル、個人の方などに幅広くご利用いただいております。

### ●お問い合わせ・ご予約・お申し込み先は…

日本武道館研修センターまで  
〒299-5231 千葉県勝浦市沢倉582  
TEL 0470-73-2111 FAX 0470-73-2819  
日本武道館ホームページ又はGoogleマップで館内の施設が確認できます。

日本武道館研修センター



# 百錬自得



## 国際武道大学

《体育学部》 ◆武道学科 (9 コース) ◆体育学科 (6 コース)

所在地：千葉県勝浦市新官 8 4 1 番地

お問い合わせ先

入試フリーダイヤル：0120-654-210

[n-center@budo-u.ac.jp](mailto:n-center@budo-u.ac.jp)

# 月刊 剣道日本

昇段したい  
試合で勝ちたい  
楽しみたい  
そんな思いに応える月刊誌です



◆定期購読絶賛受付中◆

1冊 1,500円 × 12号分 = **18,000円** (税込)



ここでしか見られない  
秘蔵映像、あります



剣道日本YouTubeチャンネル

ホームページでしか買えない  
書籍・DVD、多数あります



剣道日本公式通販サイト

株式会社 剣道日本

〒100-6104 東京都千代田区永田町 2-11-1 山王パークタワー 4階  
Tel 03-6205-8102 fax 03-6205-8103 E-mail sales@kendo-nippon.co.jp

剣道時代の本 剣道時代の好評特集が一冊に

# 全日本剣道選手権者の稽古

## 全日本剣道選手権者の稽古



原田 悟



高鍋 進



近本 巧



寺本将司

これが日本一になった剣士の稽古だ

—— 全日本剣道選手権大会優勝をはじめ ——

—— 各種大会で栄冠を手にした ——

—— 4人の剣士が実践する稽古法を完全収録 ——

近本 巧

(第51回全日本剣道選手権大会優勝)

寺本将司

(第55回全日本剣道選手権大会優勝)

原田 悟

(第53回全日本剣道選手権大会優勝)

高鍋 進

(第58回、59回全日本剣道選手権大会優勝)

全日本剣道選手権者の稽古 剣道時代編集部編

B5判 148ページ 定価 1,800円+税 ISBN978-4-88458-295-1

お申し込み先

(株)体育とスポーツ出版社(営業部)

電話 03-3291-0911 FAX 03-3293-7750

E-mail eigyobu@taiiku-sports.co.jp

http://www.taiiku-sports.co.jp

昂ぶらず冷めず。常ならざる姿が常になる。

# 平常心を纏う剣道衣、

# 《剣》誕生。

ファイテン社製の

アクアチタン繊維が

道衣の裏に柔軟な帷子のごとく

配された製品。

平常心なくして斬られない

「剣」の常におこし、

昂ぶる心のありようを

平常の心へと導きます。

剣道に継承される本来の正しいカタチを

新しい技術と融合することで、

その「解」へと導きます。



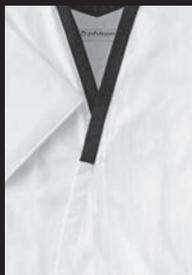
武州正藍染、極上一重刺剣道衣 16,800円～

速乾、抗菌性

裏地

アクアチタン / アクアチタンとは、ファイテンの水溶性メタル技術でチタンをナノレベルで水中に分散したもので、身につけるだけで心身をリラックス状態へとサポートします

生 地 / 伸縮性に優れた生地はカラダのあらゆる動きにも安定した着圧を保持。少ないチカラでタテ、ヨコの動きに対し自在に伸縮します。



極限まで精神を高めるトップアスリートたちのボディケアにおいて定評のあるファイテン。チタンをベースにネック&プレス、サポーターなど様々な健康グッズを販売するメーカーです。

【ファイテン株式会社】

<http://www.phiten.com/>

アクアチタンを施した《剣》シリーズ、「襦袢」・「剣道袴」・「手ぬぐい」・「アキレス腱保護サポーター」も登場!

 **株式会社 杉 興 業** × **phiten**

渋谷店ショールーム：東京都渋谷区道玄坂 2-17-3 Tel.03-3463-0471

<http://www.shokodo.com/>

刻、百年。

日本橋、

森武道具。

堅く柔らかく

相容れる技

進化する防具

生み出される姿

変わらないカタチ

創業大正二年

旺山作徳号



静心

東京  $\leftarrow M \rightarrow$  日本橋

森武道具株式会社

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町6番12号 電話 03(3661)0469(代) FAX 03(3661)0059

<http://www.moribudo.co.jp>



純銀製優勝盃



各種トロフィー・カップ・表彰楯

各種記念品から表彰カップ・トロフィーまで  
心のこもったオリジナリティーの高い商品をお届けいたします。

お問い合わせは

**ENEOSトレーディング株式会社**

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 (東京建物日本橋ビル)  
www.notc.co.jp

TEL 03-6262-2700

営業時間 / 9:00~17:30 [月~金]

# 山は富士 酒は白雪



誰も歩いていない道に行く。小西酒造株式会社  
飲酒は20歳になってから。お酒は、おいしく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。

# 祝 第68回 全日本剣道選手権大会



廣栄武道具(株)

〒670-0054 兵庫県姫路市南今宿7番6号

TEL(079)297-6611

FAX(079)297-6619

E-mail/ninJapan.kendo@kbd.biglobe.ne.jp

武道コーエイ

KOEI BUDOGU

Japan-Made High Quality Budogu

世界文化遺産  
国宝 姫路城

● 伝統と技術を誇る……………

武道具の製造販売



株式会社 大和武道具販売所

(商標登録)

(ご注文により製作致します。)

〒151-0071 東京都渋谷区本町4-18-3

☎03(3372)-2668・7972

FAX03(3372)1002

# 制覇

制覇  
PRO

PRO シリーズ

フィット感、軽さ、柔らかさを追求!!

現代剣道の為に作られた、理想の剣道具です。形状、素材にはすべて理由があります。  
体と一体化したストレスのないフィット感は剣道家が追い求めている究極のスタイル。それを実現。  
すべての剣道家に満足していただける剣道具だと自負しております。  
激しい稽古にも良し、少しの妥協も許さない試合用にも最適です。

**制覇** 株式会社 **城西** JOSAI  
**SEIHA** 会 社 武 道 具

千葉県稲毛区作草部1-4-8  
【定休日】 祝日、毎週火曜日  
【URL】 <http://www.e-josai.com>

TEL : 043-285-3876  
FAX : 043-285-3771

**【剣道具・武道具一式 販売・修理】**

<剣道・居合・なぎなた・杖道・合気・柔道・空手>

慶応3年創業 二代目 小林富次郎直伝 全日本武道具協同組合

**(有)小林一心堂武道具店**

代表 四代目 荒川マイスター（武道具修理工） 稲垣禮子



おかげさまで**154周年**。

ホームページ、Facebook をご覧ください!

★ 体にピッタリと合った防具と道着の提供を第一にしている。

[H.P.へ]

営 平日11:00~19:00 (日曜~18:00)  
休 月曜、木曜、祭日、第1・第3日曜  
交 地下鉄千代田線、京成線、都電・町屋  
駅下車徒歩1分。東京武道館から2駅  
P あり

住 〒116-0001 東京都荒川区町屋1-2-3  
T 03-3895-1031 F 03-3895-6580  
Url <http://kobayashikendogu.main.jp>  
検索 小林一心堂武道具店  
Mail [kobayashi1shindo@yahoo.co.jp](mailto:kobayashi1shindo@yahoo.co.jp)



# 真剣&名刀写し&居合稽古刀

拵部品各種・換え鞘も取り揃えてございます。

＊剣道 ＊柔道 ＊空手道 ＊合気道 ＊居合道 ＊剣詩舞道 ◀用品▶  
KENDO JUDO KARATEDO AIKIDO IAIDO KENSHIBUDO



TEL 03-3262-1969

武道具デパート

KUDAN-SHITA TOKYO

九段下  
株式会社 櫻屋

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-3-4  
地下鉄 九段下駅 3番出口前 九段下四つ角

◀営業時間 10時～7時

◀定休日 毎週水曜日と日曜日

[www.sakuraya.org](http://www.sakuraya.org)

## プリ・テック株式会社

### ▶ 本社

〒445-0804 愛知県西尾市緑町1-24  
TEL.0563-55-0707 FAX.0563-55-0202

### ▶ 名古屋支店

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目2番10号  
TEL.052-588-5822 FAX.052-588-5931

### ▶ 東京支店

〒113-0034 東京都文京区湯島2-7-16  
TEL.03-5800-8961 FAX.03-5800-4430

## プリ・テックグループ

### ▶ 半田中央印刷株式会社

〒475-0032 愛知県半田市潮干町1-21  
TEL.0569-29-2525 FAX.0569-29-4500

### ▶ トーヨー印刷株式会社

〒507-0065 岐阜県多治見市根本町12-144  
TEL.0572-29-3346 FAX.0572-29-3772

### ▶ プリテックメディア株式会社

〒445-0815 愛知県西尾市菅原町258  
TEL.0563-55-0700 FAX.0563-55-0701

### ▶ 有限会社プリテックジャパン

〒475-0024 愛知県半田市亀崎高根町3丁目  
105番地の13 TEL.0569-20-1020



プリ・テックグループは全ての事業所で  
プライバシーマークを取得しています。

[www.pritech.co.jp](http://www.pritech.co.jp)

まず、気づくことが  
ご提案の第一歩です。

P.T.C.  
GROUP

マーケティング・プランニング・デザイン・DTPから  
印刷・仕上げまで、トータルにサポートいたします。

# 十字刺 防具セット

# ひこばえ

木の切り株に、時が経つと細い新芽が生えます。  
これを「ひこばえ」と言うのだそうです。  
辛抱強さや、未来を諦めない大自然の姿勢に  
感銘を受け名付けました。



霞流くの字甲手  
＜総紺革＞

特許取得済み

## 十字刺防具セット「ひこばえ」

- 面：総紺革仕立て、内輪(ピロード)
- 胴：二本足 50本型樹脂胴、胸(波チドリ)
- 甲手：霞流くの字甲手＜総紺革＞
- 垂：総紺革 5段飾 腹草3枚

税込み価格：158,500円

ひこばえに関する詳細情報は、  
ぜひネットショップをご参照ください



◀ひこばえモニター様へのアンケート結果もご覧いただけます。Twitterやインスタでも写真を掲載していただいています。

# 剣道防具 # ひこばえ



昨年度の弊社人気 No.1

## BUDO WINGシリーズ

商標登録済み

ブドウ ウイング



## BUDO WING PRO 軽快撥水リュック

BUDO WINGの第一弾製品を踏まえ、色や素材、細かいデザインの見直しをし高級感のある仕上がりとなりました。高段の先生やご年配の方にも、ぜひともお手に取って頂きたいと思います。

希望小売価格 8,657円(込)

詳細情報はネットで!



## 好評発売中

### BUDO WING 軽快撥水リュック 《少年用》

希望小売価格  
7,944円(込)

### BUDO WING 自立型トートバッグ

希望小売価格  
6,600円(込)

ネットショップでは、多くの写真を使用して詳しい商品情報を掲載しております。撥水テストなどの情報もご覧いただけます。

霞流 剣道具 製造元  
**(株) 福田武道具**

電話：048-465-5771(代) / スマートフォン：080-5880-5771

〒351-0011 埼玉県朝霞市本町2-6-43

営業時間：午前10時～午後7時(土日祝は午後6時まで)

火曜日・第1月曜日定休 / 東武東上線「朝霞」下車徒歩4分

祝 第68回 全日本剣道選手権大会  
第59回 全日本女子剣道選手権大会



松 勘



KATSU  
JIN

# 祝 第68回全日本剣道選手権大会 第59回全日本女子剣道選手権大会

ダブルの新しい効果で飛沫を完全ガード！

## ISGフェイスシールドEX & ISGインナーマスク

大好評  
発売中

剣道連盟ガイドライン対応



特許出願中



日本製

剣道用 ISGフェイスシールドEX

ISGフェイスシールドが  
改良を重ね進化しました！

飛沫を**93%**カット！※

特許製法により飛沫の飛散を大幅に防止！

防曇効果もさらに**UP!**

防曇(曇り止め)効果が向上し、よりクリアな視界を実現！

特別価格 **¥1,000** (税別)

剣道連盟ガイドライン対応

剣道用 ISGインナーマスク



日本製



通常タイプ



鼻出しタイプ



ISGインナーマスクの特徴

立体縫製により口元に空間を作り  
スムーズな呼吸と超高通気性の素  
材が熱のこもりを解消しマスク着  
用による身体への負担を軽くしま  
す。通常タイプ、鼻出しタイプそ  
れぞれ素材にこだわった3種類計  
6種類の中から用途に合わせてお  
選びいただけます。

特別価格 **¥1,000** (税別)

飛沫  
**99%**  
カット※  
(Wタイプ)

※飛沫試験専門機関：新日本空調(株)

東山堂

<https://bit.ly/3kdpiYI>



# 祝 第68回全日本剣道選手権大会 第59回全日本女子剣道選手権大会

# 峰

謹製

MINE -KINSEI-

MADE IN KUJI

## 四半世紀の進化

辿り着いた答えがここにある

ミシン刺防具の最高峰「峰」が進化する。  
半世紀間、国産防具を製造し続ける岩手県久慈工場の技術革新で  
なされた防具の命「布団芯材」の全面改良。  
その研鑽された技術は、耐久性・打撃吸収・軽量化の向上と使い  
込むほどに体に馴染む、抜群の装着感を実現しました。  
あなたの豊かな剣道人生を支える「峰-謹製-」ここに誕生。

峰謹製 6mmピッチ総織刺



謹製  
六重層仕込

手刺風に手そぎ、六つの芯材の層を作り  
頭部の打突を包み込む吸収性を実現した特別仕込。

株式会社  
ミツボシ  
www.mitsuboshi-budo.co.jp



YouTube

ミツボシチャンネル  
久慈工場PR動画

コチラよりミツボシ久慈工場の動画をご覧ください





協力：一般財団法人 全日本剣道連盟 公益財団法人 日本武道館

## 大切な一瞬を記憶に残す

私たちは、全日本剣道選手権大会の会場づくりをお手伝いしています。

ムラヤマは潤いあふれる感動コミュニケーションを  
創造しています

 株式会社 **ムラヤマ**  
www.murayama.co.jp

# イベントで働く。

もっと大きな感動が、ここにある。

輝く人びとを本気で支えたい。80年かけて磨いた技術と経験で、裏方としてイベントを創る。それが私たちシミズオクトです。



# シミズオクト

シミズオクト



# The Professionals

自分らしさを、誰かのために。



◇ 警視庁では、武道の段位やスポーツ大会の出場歴など、皆さんがお持ちの資格や経歴などについて審査し、その内容の評定を行っています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の観点から、延期等となった場合は、警視庁採用サイト等でお知らせします。

## 第2回警察官Ⅰ類（大卒程度）・Ⅲ類（高卒程度）採用試験日程

第1次試験日	第2次試験日	申込受付期間
Ⅰ類：9月20日（月） Ⅲ類：9月19日（日）	男性：10月9日（土）、10日（日） 女性：10月16日（土）	7月26日（月） ～8月2日（月）

採用サイト



LINE



警視庁採用センター Tel:03-3581-4321(代表) 0120-314-372 警視庁採用 検索

メモ

# 文武両道

武の道で精神を磨き、  
刑務官として躍進する。

取  
鹿野  
初

青  
古  
畑

山  
尾  
池

刑務官 

武	道
区	分

 募集

道の始まりはここから



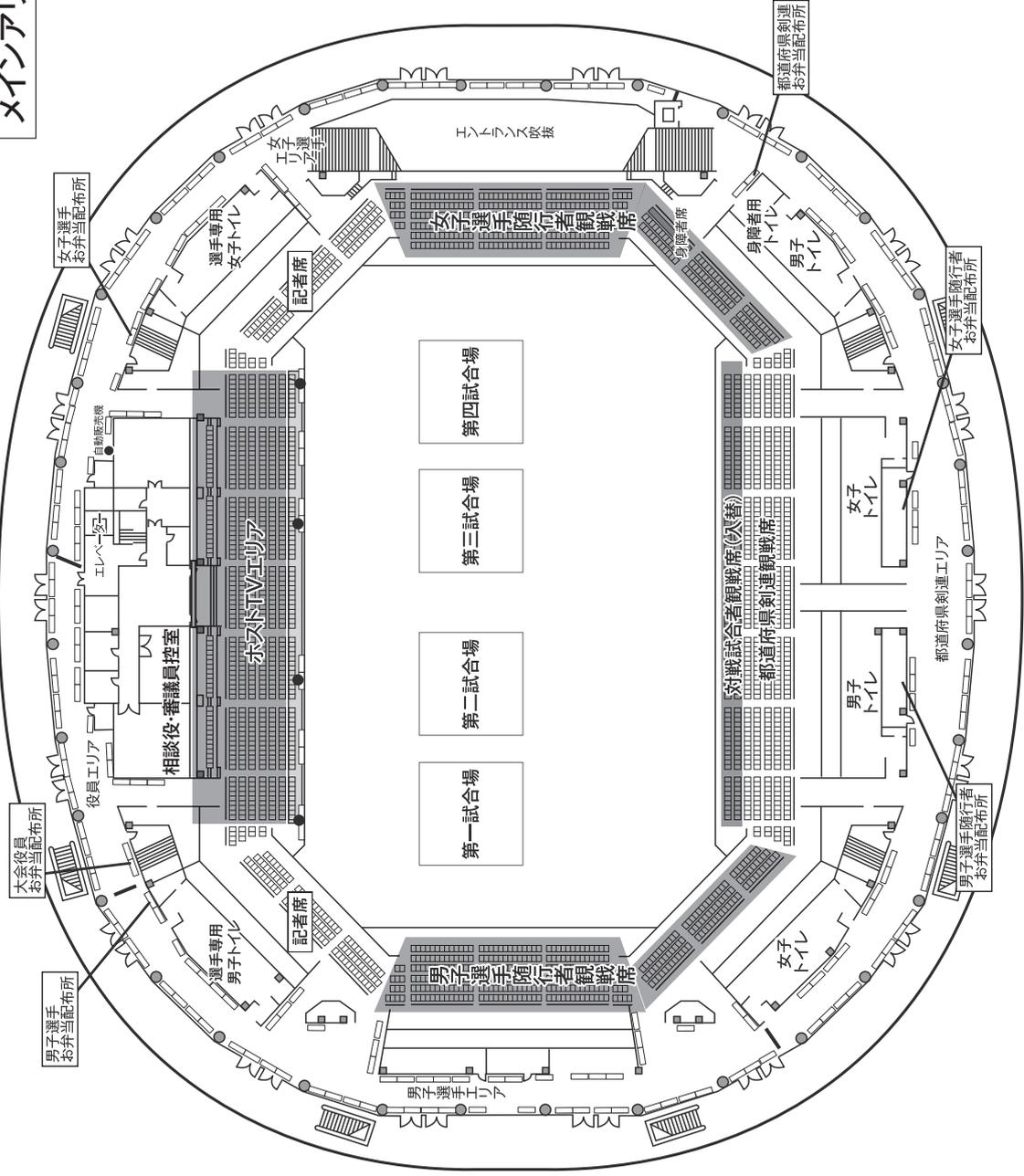
法務省

MINISTRY OF JUSTICE



# [会場図]

メインアリーナ2階・3階



# 月刊 剣窓

## —— 剣道人 必読の書 ——

月刊『剣窓』は、剣道人および剣道に関心をお持ちの方々に、剣道に関する情報を提供するものです。

日頃の稽古や講習など、さまざまな活動の場において、互いに情報を共有していれば指導しやすく、また学びやすい——切磋琢磨する剣士の実用書として是非ご活用ください。

### 主な内容

各界人による巻頭コラム「剣筆」／全剣連の動き、各専門委員会の活動報告／全剣連が関与する各大会の記録、観戦記・総評／大会・審査会・講習会などの行事予告、要項／称号・段位（六段以上）審査合格者、審査員寸評／五段審査合格者／国際剣道に関する情報、海外派遣報告／講習会などの講話および指導内容の要旨／随筆、寄稿、歴史読物など

〈年間購読料(12回分) 税・送料込 3,300円〉

### お申し込み

お申し込みは、随時受け付けております。所定の郵便払込取扱票にて、お振り込みください。お手元に所定の郵便払込取扱票が無い場合は、最寄りの郵便局備え付けの郵便払込取扱票に、次の口座番号「00100-9-116250」ならびに加入者名「全日本剣道連盟」をご記入の上、お手続きください。

また、オンラインショップでもお求めいただけます。

<https://zenkenren-shop.com/kenso/>

### お問い合わせ

## 全日本剣道連盟九段事務所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-14 靖国九段南ビル 2階

電話 03(3234)6271 FAX 03(3234)6007

全剣連ホームページ・アドレス

<https://www.kendo.or.jp/>

私たちは《剣道》を応援しています



2021年4月「富士フイルムビジネスイノベーション」へ

**TOYOTA**

